

北海道議会時報

平成5年第1回定例会



北海道議会事務局

北海道議会時報第45巻第1号(平成5年第1回定例会)

(表紙写真)

旧岩間家農家住宅（北海道開拓の村・札幌市厚別区厚別町小野幌50）

岩間家は旧仙台藩亙理領（宮城県亙理町）の士族移民団の一員として、明治4年（1871）2月に入植した畑作農家である。

この建物は、明治15年（1882）に郷里の大工によって建築され、構造・間取りとともに仙台地方の特徴を受けついでいる。旧藩主が時おり立寄った由緒ある家である。

- 旧所在地 伊達市弄月町157番地（有珠郡東紋鼈村61番地）
- 建築年代 明治15年（1882）
- 面積 43.00坪（142.10㎡）
- 構造 木造平屋建
- 寄贈者 岩間 英敏
- 収集年 → 復元年 昭和56年（1981）→ 57年（1982）



小山誠司議員逝去

議員小山誠司氏（日本社会党・道民連合、札幌市北区選出）は、2月3日午後1時22分、心筋梗塞のため、札幌市北光循環器病院において逝去され、2月6日、札幌霊堂において、告別式が執り行われた。享年59歳。

なお、2月23日第1回定例会本会議において、佐々木利昭議員（自民、札幌市北区選出）から、追悼演説が行われ、次いで、全員起立のうえ黙禱がささげられた。

追悼演説

私は、北海道議会を代表いたしまして、本日がちょうど三七日（みなのか）に当たります故小山誠司議員のありし日をしのいで、追悼の言葉を申し上げます。

去る2月3日午後1時22分、先生が急逝されたとの突然の訃報に、私は、積雪多き篠路の御自宅にはせ参じ、先生の御遺体の前で長跪合掌し、「どうして、なぜ、どうして」と幾たびか繰り返しました。いまだに信じられないのであります。

2月2日、先生は常任委員会に出席のため議場に登庁され、体を少し斜めにしてゆったりと歩かれる、あの独特のポーズで文教委員会室に向かわれる元気なお姿が最後になろうとは……………。

今定例会で再び先生の真摯なお姿を議場に見ることはできません。まことに残念なことであり、悲しんでも余りあるものがあります。

先生と私は常任委員会と一緒にのときもありましたし、地元の行事や会合などで同席する機会も数多くありました。

特に、先生の最終勤務校の白楊小学校では、私の娘の恩師としてたびたび学校でお会いさせていただきましたが、先生の子供たちを見詰める優しい笑みは、子供たちに信頼感と安心感を与え、また、先生の誠実なお人柄と情熱は、だれからも親しまれ、信頼されておりました。その心温まる寛容さに、私は、いつも深い感銘を受け、立場を超えて友情と尊敬の気持ちを抱き続けてまいりました。

小山先生、あなたの優しい面影は、敬愛の念とともに、私の思い出の中にいつまでも生き続けることでありましょう。

先生は、昭和8年に枝幸郡浜頓別町でお生まれになり、昭和32年、北海道教育大学札幌分校を卒業後、直ちに教職の道に進まれ、札幌市立北光小学校、札幌小学校、中央小学校、白楊小学校の教諭を歴任し、この間、労働組合の要職にもつかれるなど、30年余にわたり教育一筋に情熱をささげられたのであります。

その後、先生の温厚誠実なお人柄と常にみずから行動する実行力は地域住民の心を動かすところとなり、昭和62年4月、札幌市民の衆望を担って北海道議会議員に立候補し、見事に当選の榮譽を勝ち取られ、また、平成3年の2期目の選挙においても、1期目の実績が高く評価され、連続最高点での当選を果たされたのであります。

この間、2期5年余にわたり、570万道民のため、そして札幌市発展のために、高邁な政治理念と実行力をもって道政発展のために心血を注がれた先生の御活躍は枚挙にいとま

がありません。

道議会にあっては、文教委員会副委員長を初め、生活福祉委員、石炭対策特別委員、北方領土対策特別委員、エネルギー問題調査特別委員、泊原発特別委員、予算特別委員会分科委員長、決算特別委員会副委員長及び道営競馬札幌場外発売所問題調査特別委員として幅広く御活躍されたほか、石狩湾新港管理組合議会議員としても御尽力をされました。

また、社会党・道民連合議員会にあっては、政策審議副委員長の要職に就任されるなど、道政を取り巻く重要な課題の解決に大きく貢献されたのであります。

特に、昭和62年第2回定例会本会議においては、下請中小企業の経営安定、中小企業の体質強化、道内企業のマーケット確保・拡大への支援、高等教育機関の拡充や施設整備、教員の研修、心身障害児に対する教育環境の改善対策などについて問題を提起し、より一層の充実に向けての道筋を明らかにされました。

殊に、教育問題については、その豊富な御経験と卓越した識見をもって、一言一言かみしめるように御質問をされておりました。

さらに、昭和63年第2回定例会本会議の代表質問においては、泊原発問題や税制改革問題を初め、ソ連極東地域との経済交流問題、農業・水産問題、ウタリ問題等、道政各般にわたって幅広く目を向けられ、その解決に御尽力をされてまいりました。

21世紀に向けて本道の発展が強く望まれる今日、生活の質的豊かさや生きがいのある社会の実現に向けた新たな取り組みが重要視されております。

その解決には、先生の教育の実践家としての豊富な御経験と、労働界においても幅広く活躍されたその実行力、そして政治家としてのすぐれた識見と御活躍に多大な期待が寄せられていたのであります。

このような重要なときに先生を失ったことは、道議会はもとより、北海道にとってもまことに大きな損失であると申さなければなりません。

私どもは、北海道の未来のために思いをはせた先生のとうとい御遺志を受け継ぎ、創造的で活力ある地域社会づくりに努力することをここにお誓い申し上げるものであります。

小山先生、願わくば、天にあって、奥様を初め御家族の皆様の前途に限りない御加護を賜りますとともに、北海道発展の姿を見守ってください。

ここに、先生の数々の御功績をたたえ、ひたすら御冥福をお祈り申し上げ、追悼の言葉といたします。

小山先生、どうぞ安らかに眠り下さい。さようなら。

平成5年2月23日

北海道議会議員 佐々木 利 昭

第 1 回 定 例 会

概 要	1
本 会 議	3
提 出 案 件	18
決 議 案	21
意 見 案	21
請 願 ・ 陳 情	26

委 員 会 の 動 き

議会運営委員会	27
常 任 委 員 会	32
特 別 委 員 会	38
総合開発調査特別委員会	
石炭対策特別委員会	
北方領土対策特別委員会	
エネルギー問題調査特別委員会	
交通安全対策特別委員会	
過疎地域振興対策特別委員会	
予算特別委員会	41

1・2・3月のメモ

注 決算特別委員会（審査終了後一括掲載）

議 会 日 誌

▶ 1 月		10日(水)	議会運営委員会 本会議 (代表質問<2人>、追加提案説明、意見案1件可決)
12日(火)	各常任委員会	11日(木)	議会運営委員会 本会議 (一般質問<6人>)
13日(水)	総合開発調査特別、石炭対策特別、北方領土対策特別、エネルギー問題調査特別、交通安全対策特別、過疎地域振興対策特別、決算特別各委員会	12日(金)	議会運営委員会 本会議 (一般質問<3人>)
25日(月)	総務、水産林務各委員会	15日(月)	議会運営委員会 本会議 (一般質問<3人>)
▶ 2 月		16日(火)	議会運営委員会 本会議 (一般質問<1人>)
2 日(火)	各常任委員会	17日(水)	議会運営委員会 本会議 (一般質問<1人>)
3 日(水)	北方領土対策特別、エネルギー問題調査特別、交通安全対策特別、決算特別各委員会	18日(木)	議会運営委員会 本会議 (一般質問<3人>、予算特別委員会設置) 予算特別委員会 (正副委員長の互選、3分科会設置) 予算第1・第2・第3分科会 (正副委員長の互選)
16日(火)	議会運営委員会	19日(金)	議会運営委員会 予算特別委員会 (先議案件審査) 総務、農政、建設、文教各委員会 本会議 (予算特別委員長報告、補正予算案等16件可決)
22日(月)	議会運営、各常任、総合開発調査特別、石炭対策特別、北方領土対策特別、エネルギー問題調査特別、交通安全対策特別、過疎地域振興対策特別各委員会	22日(月)	予算第1・第2・第3分科会 (各部所管審査)
23日(火)	(第1回定例会開会) 議会運営委員会 本会議 (追悼演説、会期決定<30日間>、特別委員補欠選任、釧路沖地震災害報告、道政執行方針並びに提案説明、教育行政執行方針、補正予算案2件可決、石狩湾新港管理組合議会議員の補欠選挙)	23日(火)	
▶ 3 月		24日(水)	議会運営委員会 予算第1・第2分科会 (各部所管審査) 本会議 (会期延長<2日間>)
2 日(火)	議会運営委員会 本会議 (代表質問<2人>)	25日(木)	議会運営委員会 予算第1・第2分科会 (各部所管審査)
3 日(水)	議会運営、農政各委員会 本会議 (代表質問)	26日(金)	議会運営委員会 予算特別委員会 (総括質疑、議案等可決) 各常任、交通安全対策特別、決算特別各委員会 本会議 (各委員長報告、平成5年度当初予算案等可決、決議案1件可決、意見案4件可決及び1件否決、請願陳情審査) (第1回定例会閉会)
4 日(木)	議会運営委員会 本会議 (意見案1件可決、代表質問)		
5 日(金)	議会運営委員会 本会議 (日程延期)		
8 日(月)	議会運営委員会 本会議 (日程延期)		
9 日(火)	議会運営、総合開発調査特別各委員会 本会議 (代表質問)		

第 1 回定例会

2兆7,389億円余の平成5年度予算成立

▶ 新長期計画の見直しをめぐり論議 ◀

概 要

- ① 平成5年度当初予算等を審議する第1回定例会は、2月23日招集され、会期を3月24日までの30日間と決定した後、総額2兆7,389億円余の平成5年度予算及びこれに関連する議案等が上程され、知事から道政執行方針及び提出案件に関する説明、教育長から、教育行政執行方針に関する説明を行い、議案調査のため、2月24日から3月1日まで休会した。
- ② 休会明けの3月2日から代表質問に入り、自民党の新長期計画問題等に係る再質問で審議が中断、3月4日には、酪農・畜産振興施策に関する意見案を原案可決。
3月9日に審議が再開され、知事から補足答弁を行い、代表質問を継続、3月10日には、北海道新幹線の早期建設に関する意見案を原案可決した後、代表質問を終結。同日、平成4年度最終補正予算が上程され、知事から提案説明。
- ③ 3月11日から一般質問に入り、3月18日に終結。直ちに、予算特別委員会を設置し、議案を関係委員会に付託、19日は、平成4年度最終補正予算等について先議を行い、討論、採決の結果、いずれも原案可決、各委員会付託議案審査のため3月20日から、3月23日まで休会した。
- ④ 3月24日は、会期を3月26日まで2日間延長することに決定の後、各委員会付託議案審査のため、3月25日は休会することとした。
- ⑤ 予算特別委員会は、3月18日に正副委員長の互選を行い、3分科会を設置の後、翌19日、平成4年度最終補正予算等について先議を行い、質疑、討論、採決の結果、いずれも原案可決と決定。
22日から各分科会において平成5年度当初予算に関する各部所管審査に入り、25日にこれを終了、3月26日、各分科委員長報告の後、知事に対する総括質疑を行い、終結後、意見調整、討論、採決の結果いずれも原案可決と決定。
- ⑥ 会期最終日の3月26日は、各付託議案に対する委員長報告の後、討論、採決の結果、いずれも原案可決。
次に、金丸脱税事件などの疑惑解明と、抜本的政治改革を求める決議案を全会一致で可決。
次に、消費税の食料品非課税等に関する意見案を否決し、所得税減税等の大幅実施に関する意見案ほか3件の意見案を原案可決。
次に、前会より継続審査中の平成3年度各会計歳入歳出決算の閉会中継続審査、閉会申請願・陳情継続審査及び事務継続調査の件を決定し、開会以来、32日目の3月26日夜閉会した。

⑦ 提出案件の議決状況は、次のとおりである。

提出者	提出件数	議 決 の 状 況				
		原案可決	報告のみ	継続審査	否 決	計
知 事	58	55	3	(1)	—	58 (1)
議 員	8	7	—	—	1	8
計	66	62	3	(1)	1	66 (1)

注 () 内は、継続審査に係る議決件数を示し外数である。

本 会 議

○2月23日(火) 午前10時2分開議、若狭 靖議長、平成5年第1回定例会の開会を宣し、

日程第1 会議録署名議員の指定を行い、諸般の報告の後、

議長から、元議員深山和圀氏の逝去(2月15日)について弔意を表した旨報告。

次に、議長から、小山誠司議員(社会)の逝去(2月3日)について弔意を表した旨報告の後、佐々木利昭議員(自民)から追悼演説が行われ、次いで全員起立し、黙禱をささげ、午前10時16分休憩、午前10時51分再開。

日程第2 会期決定の件を議題とし、今期定例会の会期を本日から3月24日までの30日間と決定。

日程第3 特別委員補欠選任の件を議題とし、欠員中のエネルギー問題調査特別委員の補欠選任について、委員会条例第6条第1項の規定により、保格博夫議員(社会)を指名することを決定。

日程第4 議案第1号ないし第39号を議題とし、知事から釧路沖地震による災害状況に関する報告及び道政執行方針並びに提出議案について説明。教育長から、教育行政執行方針について説明。

日程第4のうち、議案第38号及び第39号を先議することを決定して、午後零時5分休憩、午後1時58分再開。

日程第4のうち、議案第38号及び第39号の議事を継続し、釧路沖地震災害関連の質疑に入り、

綿貫 健輔議員(自民)から、

- ・漁港関係の復旧対策について、今回予算措置をしなかった理由
- ・4月以降の工事着手による漁業活動及び地域産業への影響に対する見解
- ・中小企業に対する災害資金の融資を既に受けた業者に対する利率引下げの遡及適用に対する見解
- ・アンローダーの修理復旧問題の経過に対する受止め及び今後の対応
- ・災害対策本部を設置しない理由
- ・道の災害対策が総合性に欠けるという批判に対する受止め
- ・激甚災害指定に対する見通し及び指定に向けての取組み

等について質問があり、知事から答弁。

岩崎 守男議員(社会)から、

- ・地震特定観測地域に指定された地域及びそれに準じる地域の中間年での点検の必要性に対する所見
- ・全国知事会の地方災害対策基金構想に参加することに対する見解
- ・融雪時期後に災害の全体査定が行われるように国に働きかけることに対する所見
- ・厳冬期における防災対策確立に向けての対応等について質問があり、知事から答弁。

伊藤 武一議員(公明)から、

- ・アンローダー復旧に向けての支援・協力に対する所見
- ・魚揚場施設復旧に向けての取組み
- ・人工崖地域対策
- ・道道の建設計画の検討及び帯広・釧路間の横断自動車道の早期着工に対する所見等について質問があり、知事から答弁。

風早 俊男議員(民政)から、

- ・防災行政無線が不通になった原因
- ・他地域の防災行政無線の状況
- ・連絡体制及び広報手段の活用状況
- ・釧路市地域防災計画中の広報システム及び実際の広報手段
- ・市町村地域防災計画の見直し状況
- ・見直しが行われていない市町村がある理由及びそれに対する道の指導方針

等について質問があり、知事から答弁。

萩原 信宏議員(共産)から、

- ・今後の防災計画への取組み及び関係機関一体となった復旧対策に対する所見
- ・ガス事業復旧に対する見解
- ・ガス事業の震災時における安全維持基準及び点検状況
- ・ガス供給設備の耐震度見直しの方法
- ・防災計画の見直し及び災害訓練実施に向けての見解
- ・測候所の夜間閉鎖体制中止及び観測機器の拡充並びに海底地震計設置に対する所見
- ・国の法律に基づく災害見舞金制度の改善に対する見解
- ・減免による市町村国保の財政負担緩和のため道単で特別助成を行うことに対する見解
- ・すべての被災者の資金利率を3%にすること

に対する見解

- 魚揚場復旧のため、農水省の暫定法適用に向けての取組み及び道の財源補填実施に対する見解
- 酪農への影響
- 農業災害資金の利率を3%にすることに対する見解
- 急傾斜地危険箇所未指定区域の災害発生状況
- 地震多発地帯における道独自の特別地域指定を検討することに対する見解
- 地震多発地帯での宅地造成のための特別安全基準作成に対する見解
- 下水道の被害原因の究明及び対策に対する見解
- 住宅被害を受けた人への無利子融資の検討及び高齢者等低所得者への対応

等について質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。

石川 十四夫議員（道政）から、

- 災害時の医療体制及び今後の対策
- 石油ストーブの耐震性能の改良に向けての取組み

等について質問があり、知事から答弁があつて、質疑を終結。

委員会付託を省略し採決に入り、本件をいずれも異議なく原案のとおり可決。

日程第5 石狩湾新港管理組合議会議員の補欠選挙を行い、選挙の方法は指名推せんによること及び指名の方法は議長において指名することを異議なく決定。議長より石狩湾新港管理組合議会議員に西本美嗣議員（社会）を指名後、議長指名のとおり当選人とすることを異議なく決定。

議案調査のため、2月24日から3月1日まで休会することに決定して、午後3時26分散会。

○3月2日（火） 午前10時16分開議、諸般の報告の後、

議長から、元議員村上彝明氏の逝去（2月24日）について弔意を表した旨報告。

日程第1 陳情第17号を議題とし、本件を交通安全対策特別委員会に付託することを異議なく決定。

日程第2 議案第1号ないし第37号を議題とし、代表質問に入り、

高橋 庸議員（社会）から、



- 1 地方分権について
 - 国と自治体との役割分担に向けての改革内容
 - 自治体の経営能力及び住民の自治意識に対する評価
 - 自治体の新しい枠組みの理想像
 - 庁内研究グループ及び職員の意識啓発の必要性に対する認識
 - 地方分権の知事の構想
 - パイロット自治体に対する所見及び道内自治体への対応
- 2 知事公約について
 - 公約達成状況に対する認識
 - 公約実現に向けての見通し
 - 北海道新長期総合計画の今後の取組み
 - 戦略プロジェクトに対する今後の取組み
- 3 財政問題について
 - 平成5年度の財政見通し
 - 公債費による財政負担の度合い
 - 平成6年度以降における財政運営
- 4 ロシア極東地域との交通アクセスについて
 - 函館空港国際化へ向けての取組み
 - 新航空路線開設に向けての取組み
 - フェリー定期航路開設に向けての取組み
- 5 特色ある農村地域形成について
 - 特色ある農村地域形成の必要性に対する認識
 - 農道整備に対する所見
 - 推進体制に対する所見
- 6 北海道文化条例について
 - 条例の実効性に対する所見
 - 条例の早期制定に対する見解
- 7 ラムサール会議について
 - 登録湿地指定への理解のための道の役割及び取組み
 - 登録湿地指定に向けての取組み
 - 自然河川保全の検討に対する所見
- 8 環境保全について

- ・地域における環境保全活動への支援策
 - ・環境保全に向けた機構の強化に対する所見
- 9 中学校における進路指導について
- ・業者テスト禁止を求める文部省通知への対応
 - ・高等学校教育改革推進会議第三次報告の受止め及び高校入学選抜の改善内容

等について質問があり、知事及び教育長から答弁があつて、午前11時33分休憩、午後1時30分再開。

神戸 典臣議員（自民）から、



1 横路道政10年の実績について

- ・本道経済の財政依存度の改善状況
- ・産業構造高度化の進展状況
- ・域際収支の赤字に対する見解
- ・過疎状況の認識
- ・開発政策の改善内容及びその成果の過疎解消への効果
- ・道民所得低下に対する受止め

2 新長期総合計画について

- ・計画が基礎部分で破綻していることに対する認識
- ・計画の総点検による見直しに対する見解
- ・戦略プロジェクトに対する指摘の受止め
- ・航空宇宙産業基地、臨森林型産業都市及び地域計画情報システムの各プロジェクトの見直しに対する所見
- ・戦略プロジェクトの財政面からの見直しに対する受止め

3 道財政の現状について

- ・歳入構成に占める道税収入の割合に対する認識及び現状改善のためのこれまでの取組み並にその成果に対する認識
- ・義務的経費の歳出総額に占める割合に対する受止め
- ・地方債残高が2兆円を超えたことに対する認識
- ・財政需要に対する見解

- ・当初予算編成に当たって廃止、縮小等の措置を講じた事業数及びそれに伴い生じた財源の程度

4 景気浮揚対策について

- ・新年度予算案に計上された事業が景気浮揚に与えるインパクト
- ・景気対策関連予算の執行方針
- ・本道への国の生活関連重点化枠予算に対する受止め及びこの予算の重点配分に向けての取組み

5 中小企業金融対策について

- ・中小企業振興基金の新規融資枠及び融資条件での対応の可否
- ・中小企業経営安定緊急特別資金制度廃止の理由
- ・倒産防止特別相談室の利用が少ない現状及び原因に対する認識並びにその改善に向けての取組み

6 食料自給問題について

- ・世界の食料需給に対する見通し及び日本の食料自給のあり方に対する見解
- ・本道事情の国に対する働きかけの内容及び政策へ向けての取組み
- ・食料自給の重要性の理解を深めるための取組み及び成果
- ・知事就任以降の全国に対する本道の農・漁業の食料供給力の推移
- ・農業・漁業の経営体質の強化状況
- ・食料供給基地としての将来展望
- ・本道農業・漁業に対する施策内容

7 アイヌ文化について

- ・アイヌ文化の保存・伝承に対する認識
- ・アイヌ文化に関する総合的施設の設置に対する見解
- ・アイヌ文化研究センターの建設構想内容

8 教職員の週休2日制について

- ・まとめ取り方式未実施の状況における道教委の姿勢に対する認識
- ・まとめ取り実施の方途
- ・北教組との交渉内容及び未決着の理由
- ・新年度の夏休みから実施することに対する見解

9 外国人問題について

- ・外国人増加に伴う治安問題に対する認識
- ・本道における来日外国人の状況

- 拳銃等の密輸入への水際対策の取組内容及び対策の成果
- 麻薬等の水際摘発の状況
- 麻薬取締りに臨む基本姿勢

等について質問があり、知事、教育委員長、教育長及び警察本部長から答弁。同議員から再質問、知事から答弁準備のため時間を要する旨発言があり、午後3時37分休憩、午後4時25分再開し、午後4時26分延会。

○3月3日(水) 午後3時36分開議、諸般の報告の後、3月2日の神戸典臣議員(自民)の再質問に対し、知事から答弁。野呂善市議員(自民)から議事進行に関し発言があり、午後3時56分休憩、午後3時59分再開し、午後4時延会。

○3月4日(木) 午後3時58分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第37号を議題とし、代表質問を継続。

日程第1の議事を中止し、

追加日程 意見案第1号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略の上、異議なく原案のとおり可決し、午後4時延会。

○3月5日(金) 午後3時57分開議、諸般の報告の後、本日の会議は、日程を延期し、延会することに決定し、午後3時58分延会。

○3月8日(月) 午後4時30分開議、諸般の報告の後、本日の会議は、日程を延期し、延会することに決定し、午後4時31分延会。

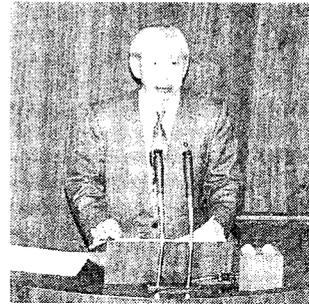
○3月9日(火) 午後4時23分開議、諸般の報告の後、神戸典臣議員(自民)の再質問に対し、知事から補足答弁、教育長から答弁。同議員から再々質問、知事から答弁。会議規則第57条ただし書きの規定による発言許可の後、同議員から質問、知事から答弁があつて、午後4時50分延会。

○3月10日(水) 午前10時35分開議、諸般の報告の後、

日程第1 意見案第2号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略の上、異議なく原案のとおり可決。

日程第2 議案第1号ないし第37号を議題とし、代表質問を継続。

藤沢 一雄議員(民政) から、



- 1 北方領土問題について
 - エリツイン大統領が提唱した5段階解決論に対する受止め
 - クリル諸島の社会・経済発展に関する大統領令に対する見解
 - 今後の領土問題に対する認識
- 2 対ロシア交流について
 - 終戦直後の樺太引揚船遭難事件の真相及び補償問題に対する見解
 - この事件の真相究明とロシア交流との関係
 - 交流の原点に対する所見
- 3 景気及び財政問題について
 - 景気の状態に対する受止め
 - 景気後退の北海道経済自立化への影響
 - 宮沢首相が示唆した追加的景気対策の本道経済への影響
 - 公定歩合引下げによる本道の景気への影響
 - 道内銀行の不良債権問題の本道景気回復への影響
 - 公共事業の早期執行に対する考え
 - 平成5年度予算案に対する評価
 - 道の財政構造に対する見解
- 4 日本海地域の振興について
 - 日本海地域に対する現状認識
 - 新長期総合計画との関係
 - 振興方策の策定に当たっての市町村からの要望及びその推進方法
- 5 日本水難救済会の救難所員の身分保障について
 - 救難所員の処遇の現状に対する所見
 - 水上消防団または水難救助隊の創設に対する見解
 - 上記団体の創設に対し関係機関の協議がまとまった場合の道の対応
- 6 イトウの生息実態等について

- ・イトウの生息実態等の調査研究早期実施に対する見解
 - ・道水産ふ化場におけるイトウの人工ふ化の現状及びその活用
- 7 文化行政について
 - ・文化行政に対する基本認識及び取組状況
 - ・道庁基本デザインに対する取組み及び普及状況
 - ・デザイン向上のための取組み及び専門家の指導助言を得るための方法
 - 8 小中学校での余裕教室について
 - ・現在の活用状況及び今後の活用方針
 - 9 公安問題について
 - ・暴力団対策法の成果に対する受止め及び今後の暴力団対策
 - ・脱スパイクタイヤ対策上の配意
- 等について質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。同議員から再質問、知事から答弁があつて、午前11時58分休憩、午後1時34分再開。

浅野 俊一議員（公明）から、



- 1 対ロシア交流について
 - ・北方領土で外国企業による事業計画が進められていることに対する所見
 - ・今後の対ロシア交流の展開の見通し
 - ・今後の交流プログラムの内容
- 2 カンボジアPKOに陸上自衛隊北部方面隊が派遣されることについて
 - ・派遣隊員へメッセージを送ることへの見解
- 3 国際交流について
 - ・交流推進体制の整備に対する所見
 - ・新たな推進体制の確立に対する所見
- 4 道インターナショナルスクールについて
 - ・このスクールへの支援に対する所見
- 5 財政問題について
 - ・平成5年度予算に対する意図及び道債残高に対する責任
- 6 戦略プロジェクトについて
 - ・見直し及び事業展開明確化に対する所見
- 7 経済の活性化について
 - ・複合不況に対する認識及びその打開策
 - ・大型所得税減税早期実施に対する所見
 - ・今後の本道の景気見通しに対する所見
 - ・本道経済発展のための取組内容
 - ・積雪寒冷期における発注に対する所見
- 8 農業問題について
 - ・本道における酪農・肉用牛経営の安定を図るための取組み
- 9 水産問題について
 - ・サケ・マス漁船違反操業裁判の判決に対する受止め
 - ・この判決に対する道側の発言への見解
 - ・操業権譲受けに対するこれまでの対応及び今後の指導
 - ・漁業秩序回復のための対策
 - ・今後の日本海漁業振興対策の展望及び明年度の取組内容
 - ・長期間試験操業が続けられていることに対する認識及び今後の指導内容
- 10 医療福祉問題について
 - ・道立保健所の整備充実のための取組み及びスケジュール
 - ・福祉環境整備要綱策定以降の公共施設等の改善整備の成果に対する認識及び今後の取組み
 - ・福祉のまちづくり条例制定に対する所見
- 11 環境問題について
 - ・環境プラザ構想具体化へ向けての取組み及びスケジュール
 - ・この構想と自然や野生生物の生態学習・研修等を目的とした構想との調整
 - ・広島町に計画されているゴルフ場の道ゴルフ場開発の規制に関する要綱のただし書規定適用に至る経過に対する認識
 - ・緑化推進等への取組み
- 12 教育問題について
 - ・明年度の重点的取組内容
 - ・偏差値教育の是正問題への対応
 - ・本道中学における業者テストの実態及び今後の指導
 - ・学校5日制本格実施に向けての取組み及び地域での受皿づくり具体化に向けての取組み

13 公安問題について

- 今後の重点的取組内容
- 凶悪未解決事件に対する取組み
- 捜査体制の強化に向けての取組み

等について質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。同議員から再質問、知事及び教育長から答弁。

日程第2の議事を中止し、

追加日程 議案第40号ないし第55号を議題とし、知事から提案説明があつて、午後3時22分休憩、午後4時29分再開し、午後4時30分延会。

○3月11日(木) 午前10時47分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第37号及び第40号ないし第55号を議題とし、一般質問に入り、

釣部 勲議員(自民)から、

1 農業振興について

- 花きの需給に対する見通し及び本道花き生産の方向性
- 花き生産振興対策
- 花きの技術課題に対する認識
- 花き試験研究の進め方及び重点課題
- 花き・野菜技術センターの内容及び整備スケジュール

2 一村一品運動について

- この運動に対する現状認識
- 地場産業等の活性化への効果
- 全国的流通に乗った地場産品数及び特色ある成果をあげているものの具体例
- 運動を絞ること等見直しに対する見解

3 地域づくり海外派遣研修事業について

- 研修先及び研修内容
- 市町村側の了承取得の有無
- 道と市町村との関係に対する認識

4 知事のふるさと訪問及び市町村サミットについて

- 道民の意向の把握度及びこれにより打ち出された政策
- ふるさと訪問及びサミットの目的及び意義
- ふるさと訪問及びサミットの所要時間に対する認識及び事業成果に対する認識
- 戦略プロジェクトの進め方に対する見解
- 戦略プロジェクトに対する市町村の理解
- 今後取り止めることに対する見解

5 学校職員の交通違反について

- 教職員の交通違反・交通事故増加に対する認識
- これまでの指導内容
- 悪質な違反が多発していることに対する受止め及び今後の対策

等について質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。同議員から発言があつて、午前11時49分休憩、午後1時24分再開。

伊藤 政信議員(社会)から、

1 福祉問題について

- 福祉行政における市町村・団体への対応
- 道民福祉の向上内容
- 福祉人材センターの求人・求職登録状況及び就職決定状況
- 今後の人材確保を進めるための考え方
- 理学療法士・作業療法士等の要員不足に対する現状認識及び今後の対策
- 訪問看護ステーション及び機能訓練指導事業の事業内容、事業量
- 訪問看護ステーションの全道展開の進め方
- シルバーハウジング展開に対する所見
- 高齢化対応住宅設計指針の活用方針
- 住宅用の相談窓口の充実に対する所見

2 動植物の種の保存について

- 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律の施行に伴う種の選定に対し道が関わることにに対する見解及び本道に関する既選定種
- 国が希少野生動植物の保存のため生息地等を保護指定する際の対応
- 野生動植物に対する総合的施策の展開内容

3 レブンアツモリソウについて

- 保存及び植生回復に対する見解
- 盗難に対する監視体制
- 道天然記念物指定に向けての推移
- 種の保存に関する法律における国の指定と道教委の指定との関係

4 ラムサール条約の登録湿地指定等について

- 別寒辺牛川流域及び霧多布湿原の鳥獣保護区設定及びラムサール条約の登録湿地指定の可能性

等について質問があり、知事及び教育長から答弁。

伊藤 条一議員(自民)から、

1 北海道の国際化について

- 国際研修センター施設の管理運営が地元委

託されることの可否

- 地域住民も利用できる施設にすることに対する構想
 - 研修内容に地域の特性を生かすことに対する見解
 - 国際協力センターの設置及び国際交流会館の建設基本計画の策定の進捗状況
 - 国際協力事業の進捗状況に対する認識
 - 国際研修センター設置による成果の有無
- 2 生活福祉行政について
- 前行動計画に基づく取組内容及び計画の評価に対する受止め
 - 新行動計画と先の計画との間に空白期間が生じた理由
 - 北海道の計画と国の計画との整合性に対する認識及び国の計画による道の計画見直しの必要性
 - 新行動計画策定に当たっての考え方
 - 障害者対策推進のための体制等の整備状況及びスケジュール

等について質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。

平出 陽子議員（社会）から、

- 1 社会福祉施設の防火対策について
- 防火対策の指導内容
 - スプリンクラー・屋内消火栓の設置状況及び今後の指導方針
- 2 女性の自立プラン推進について
- プランの前期5年間の評価及び問題点
 - 組織等の名称変更及び市町村等への普及啓発に対する所見
 - 審議会委員の女性登用率向上のための方法
 - 女性に関する意識調査の観点及び調査内容
 - 上記調査結果の今後の施策への利用
- 3 高等学校における家庭科の男女共学必修について
- 家庭科の男女必修に対する認識
 - 家庭科必修に向けての施設整備方針内容
 - 家庭科指導教員確保に対する見通し

等について質問があり、知事及び教育長から答弁があつて、午後2時56分休憩、午後3時27分再開。

清水 誠一議員（自民）から、

- 1 道と市町村との連携及び支援について
- ふるさと市町村圏の今後の選定に対する見解
 - 過疎化に対する金融面での対応

- 廃棄物処理施設に対する市町村への支援
 - 人口減少地域に対する支援策及び対策
- 2 地場企業の育成と優良道産品の推奨制度について
- 申請企業数が伸び悩んでいる要因及び制度見直しの内容
 - 優良道産品推奨協議会の未加入団体への対応及び研修会・講習会等の内容
 - バイ・ホッカイドウ運動の推進状況及び広報宣伝活動の進め方
 - 公共事業発注時の業者への道産資材使用に対する指導
 - 地場企業の新製品・新技術開発に対する支援の実態
- 3 教育問題について
- 肢体不自由児高等部設置に対する見解
 - 精神薄弱養護学校高等部の整備に対する見解
 - 福祉教育に関するパイロットスクール指定の経緯及び成果
 - 福祉教育に対する今後の取組み
 - 道立高校における障害者用施設の整備状況及び新改築に対する取組み

等について質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事及び教育長から答弁。

高橋 由紀雄議員（社会）から、

- 1 企業立地について
- 企業誘致の進め方及び取組結果に対する認識
 - 道外からの立地企業に対するアンケート調査結果の特徴及び今後の活用法
 - 進出企業と地場企業との連携策
 - 企業訪問強化に対する見解
 - 外資系企業誘致に対する所見
 - 道内各地への均衡ある企業誘致促進へ向けての見解
- 2 労働力の確保問題について
- 労働力需給に対する今後の見通し及び対策
 - 高齢者雇用確保対策
 - 雇用調整助成金適用に当たっての指導内容
 - 学卒者の採用内定取消し等に対する指導
 - 地元雇用確保対策及びUターン促進のための対策
 - 労働時間短縮のための意識啓発
 - 中小企業労働力確保法の活用に対する見解
 - 労働環境整備資金の融資条件緩和に対する見解

- 3 産炭地域対策について
 - ・三井芦別炭鉱閉山後の離職者の状況及びそれに対する認識並びに産炭地域対策
 - ・芦別炭鉱閉山に対する事前雇用・地域対策に関する評価
 - ・石炭企業の経営多角化支援のための融資制度の活用法及び雇用確保・地域対策への効果
 - ・融資制度の対象拡大に対する見解
 - ・産炭地域振興実施計画の進捗状況
- 4 高等学校における総合学科について
 - ・総合学科に対する受止め及び学校間格差への影響
 - ・新学科集合型高等学校との関連
 - ・総合学科設置に対する見解及び設置推進における課題

等について質問があり、知事及び教育長から答弁があつて、午後4時53分延会。

○3月12日（金） 午後2時44分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第37号及び第40号ないし第55号を議題とし、一般質問を継続。

明田 辰義議員（自民）から、

- 1 農業問題について
 - ・農畜産物輸入自由化反対要請行動時の関係各省の反応
 - ・農畜産物輸入自由化反対要請行動の日程
 - ・北海道農業・農村ビジョンの素案
 - ・北海道農業のめざす姿における農業経営及び組織経営体の内容
 - ・北海道農業の担い手確保・育成対策の基本方針の効果
 - ・農協組合長の言葉に対する見解
 - ・花嫁対策に対する見解
 - ・道内におけるきらら397の販売状況
 - ・きらら397の作付指導内容及び5年産に向けての対応
 - ・空育139号の対冷性、適産地及び普及方法
 - ・復田の見通し及び米づくりの対策
 - ・水田営農活性化に向けての方針及び施策
 - ・本道における政府米の出荷量、低出荷率の原因及び平成5年産米に対する指導
 - ・上川北部地区の市町村サミットでの発言の真意
 - ・過疎対策等に関する見解

等について質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。同議員から発言。

小池 昌議員（社会）から、

- 1 北方領土問題について
 - ・問題解決のための今後の取組み
 - ・北方四島とのビザなし交流による領土問題解決への成果
 - ・来年度のビザなし交流の内容及び事業内容充実に向けての取組み
 - ・知事の四島訪問に対する見解及び訪問時の計画
 - ・根室市の役割及び機能整備に対する認識
 - 2 水産問題について
 - ・海域別栽培漁業の推進計画の策定における考え方
 - ・北海道栽培漁業基金と海域別栽培漁業推進計画との関連
 - ・資源と漁場の管理に対する見解
 - ・根室地域の増殖場造成事業拡大に対する見解
 - ・ウニの人口種苗センターの根室支庁管内設置に対する見解
 - ・三角水域における共同調査事業に対する見解
- 等について質問があり、知事から答弁。

石井 孝一議員（自民）から、

- 1 酸性雨について
 - ・国内での酸性雨の濃度
 - ・酸性雨による森林被害、湖沼・土壌の酸性化の状況
 - ・酸性雨問題に対する取組み
- 2 スパイクタイヤ規制と管理体制について
 - ・車粉の中和効果に対する所見
 - ・冬期のスパイクタイヤ一時期規制緩和の特例措置に対する所見
 - ・ロードヒーティング整備・維持管理に対する見解
 - ・道道におけるロードヒーティングの電力料金及び融雪電力料金の低減措置を北電に要請することに対する所見
 - ・除排雪対策の程度に対する見解
 - ・凍結道路における事故発生原因及び対策
 - ・高速道路における事故発生に対する認識及び対策
- 3 道債発行と道財政について
 - ・教育投資等の区分
 - ・道債発行の基本的考え方

- ・積立基金取崩しに対する見解
- ・道債残高の上限の程度
- ・道税の収入未済額
- ・道税の滞納整理方策
- ・法人税収入が伸び悩んでいる業種
- ・道税収入の見積りに対する所見
- ・道税収入減の対応
- ・景気浮揚対策の内容
- ・不動産取得税減免に対する所見

4 道外企業の撤退について

- ・空港アクセス道路整備の遅れによる企業進出見直しの事態に対する受止め及び対策
- ・企業の計画撤回、操業停止・縮小への対応策

5 パートタイム労働者等の対策について

- ・パートタイム労働者に対する認識及び企業に対する指導・支援内容
- ・育児休業対策促進に向けての取組み
- ・高齢者雇用対策推進に当たっての考え方
- ・道内民間企業の障害者雇用率の現状に対する認識及び企業への対応策

等について質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁があつて、午後4時54分延会。

○3月15日(月) 午後1時32分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第37号及び第40号ないし第55号を議題とし、一般質問を継続。

乙川 節郎議員(公明)から、

- 1 道立産業共進会場周辺用地の再開発について
 - ・用地活用に関する札幌市との協議の経過
 - ・活用方策に対する検討
- 2 道立施設の防火対策について
 - ・道立社会福祉施設のスプリンクラー等の設置及び訓練等の取組状況
 - ・社会福祉施設の防火対策に関する指導
 - ・道立病院・民間医療機関の防火対策
- 3 教育問題について
 - ・特色ある学校教育推進に向けての取組み
 - ・特色ある高校づくりの今後の事業展開
 - ・高校中途退学者の実態に対する認識
 - ・学校生活・学業不適応者に対する取組み
 - ・経済的理由による退学者に対する取組み
 - ・中退者の再入学に対する取組み
 - ・中退に関わる個別指導・相談体制確立に向けての取組み

等について質問があり、知事及び教育長から答弁。

上田 茂議員(自民)から、

1 本道経済の動向について

- ・企業の進出状況
- ・自動車関連工業等のバブル経済崩壊による影響
- ・道内の雇用状況、新卒者の就職見通し及び採用内定取消し状況
- ・本道経済の現状と見通し
- ・企業活性化に向けての施策

2 観光問題について

- ・昨年上半期以降の観光客の入込み状況及び今後の見通し
- ・今年の札幌雪祭りの観光客数の状況
- ・観光産業振興へ向けての取組み
- ・北海道観光大型誘客キャンペーン事業の趣旨及び効果
- ・国際観光ホテル整備法の適用拡大に対する見解

3 本道における技術開発について

- ・研究技術開発の現状と課題
- ・北の技術開発ネットワーク構想の達成状況、本道技術力高度化への効果及び今後の取組み
- ・国際技術開発機構の性格、設立の見通し及び平成5年度予算との関連

4 テクノスーパーライナー誘致について

- ・国のT S Lの研究開発状況、成果及びこれに対する知事の姿勢
- ・道の取組状況及び今後の方針
- ・専任の組織体制整備に対する見解

等について質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁があつて、午後2時41分休憩、午後4時8分再開。

高橋 定敏議員(自民)から、

1 環日本海経済圏について

- ・この構想に対する知事の認識及び取組状況
- ・経済企画庁のアンケート調査で道内都市が拠点都市として対象となっていないことに対する見解
- ・今後の外国との経済交流への取組み

2 日本海地域振興について

- ・日本海地域の道路等社会資本の整備状況
- ・日本海地域の将来あるべき姿
- ・道単事業として道路整備を進めることに対する所見

- 新機構設置に対する見解
- 3 教育問題について
- 学校給食の教育上の位置付け
 - 本道の肥満児の実態及び指導内容
 - 本道小中学生の塾通いの実態及び子供に対する認識
 - ゆとりある教育の内容
 - 高等学校教育の実態

等について質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事及び教育長から答弁があって、午後4時48分延会。

○3月16日(火) 午後2時45分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第37号及び第40号ないし第55号を議題とし、一般質問を継続。

加藤 和久議員(自民)から、

- 1 国連カンボジア暫定機構選挙監視員派遣と国際貢献について
 - カンボジア和平に対するPKO活動への受止め
 - PKO派遣編成完結式を知事の代理出席とした理由
 - カンボジア選挙監視員の募集要領及び応募者への対応並びに推薦を見送ることになったことに対する見解
 - 道の国際貢献に対する考え方
- 2 農業問題について
 - 畑作振興上の課題及び対処
 - 土地基盤整備事業に対する取組み
 - 緊急畑地総合整備事業継続に対する取組み
 - 資材コスト低減のための資材価格の引下げ及び効率利用に対する取組み、成果
 - 農業・農村ビジョンにおける畑作経営の姿
 - 最近の大家畜経営の状況及び見通し
 - 大家畜経営の安定を図るための取組み
 - 乳価等の決定に向けての取組み
 - 大家畜経営の累積負債問題に対する認識及び対処
- 3 コミューター空港プロジェクトについて
 - コミューター航空実現に向けての取組み及び将来展望
 - 国内コミューター航空の実態及び他県における取組状況・支援措置
 - 第六次空港整備五箇年計画にコミューター空

港整備を組み入れるための要望の内容

- コミューター航空実現に向けての国への働きかけ
- 丘珠空港の位置付け

等について質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。同議員から再々質問、知事から答弁。会議規則第57条ただし書の規定による発言許可の後、同議員から発言があって、午後3時49分休憩、午後4時41分再開し、午後4時42分延会。

○3月17日(水) 午後3時29分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第37号及び第40号ないし第55号を議題とし、一般質問を継続。

久田 恭弘議員(自民)から、

- 1 経済見通しと新長期総合計画との関連について
 - 新長計汚職事件の札幌地裁判決に対する受止め
 - 新年度予算編成における本道経済成長率の見通し
 - 平成5年度における経済成長率4%台達成の可能性
 - 新長計期間中の目標経済成長率達成の可能性
 - 本道の人口に対する見解
 - 人口・経済指標等を圏域毎に検討することに対する所見
 - 新長計における公的資金のマクロ試算をやり直すことに対する見解
 - 国の経済成長率の推計時と現在の状況
 - 民間資金導入の方法及び5年間の実績
 - 戦略プロジェクト・地域プロジェクト推進のための外債導入状況
 - コミュニティ・ボンドの状況
 - ナショナル・トラスト運動の成果
- 2 産業・経済政策の具体策について
 - 本道産業構造見直しの内容
 - 本道産業の戦略的転換の内容
- 3 商工観光行政について
 - 新長計におけるエネルギー需要の予測及び実態
 - 脱スバイクタイヤに関連したエネルギー問題に対する所見
 - 物流効率化のための施策及び今後の方針
- 4 漁業無線局の運営について

- 釧路漁業無線局の現状認識
 - 道内漁業無線局の現状及び今後の運営
 - 昭和61年第3回定例会以降の検討結果及び対処
 - 北海道電気通信監理局の調査に対する協力要請等の有無
 - 漁業無線局存続のための方策及び北海道電気通信監理局への働きかけ
- 5 土木行政について
- 港務通信用海岸局設置に対する見解
 - 道路構造令改正に当たっての国の検討課題及び本道の特性を考慮するよう要請することに対する所見

等について質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁準備のため時間を要する旨発言があり、午後4時24分休憩、午後4時25分再開し直ちに延会。

○3月18日（木） 午前10時32分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第37号及び第40号ないし第55号を議題とし、一般質問を継続。

3月17日の久田恭弘議員（自民）の再質問に対し、知事から答弁。同議員から再々質問、知事から答弁。

風早 俊男議員（民政）から、

- 1 脱スパイクタイヤについて
 - 凍結路面の発生原因及び対策
 - 坂道対策やロードヒーティング等ハード面での対策
 - ソフト面での取組課題
 - 路面対策
 - 歩道対策
 - 低コストロードヒーティング研究の実用化の見通し及び低コストに至ったシステムの要因
 - 融雪剤に対する見解
- 2 医療問題について
 - 本道医療問題の現状及び課題
 - 病院経営状態の受止め及び対策
 - 地域医療計画中の必要病床数の見直し内容
 - 院内感染の状況及び今後の取組み
 - テレビゲームの子供への影響に対する受止め及び対策
- 3 教育問題について
 - 子供がテレビゲームに興じていることの影響
 - 知育偏重とテレビゲームとの関連及び学習指

導要領の面からの受止め

- テレビゲームの功罪及びモデル調査の必要性に対する見解

等について質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事及び教育長から答弁があって、午前11時36分休憩、午後1時42分再開。

木村 澄男議員（道政）から、

- 1 景気対策について
 - 全国及び道内景気の現状と先行きに対する認識
 - 景気対策に伴う公共投資増加の効果
 - 中小・零細企業の金融の円滑化への対処
 - 中小企業の状況に対する認識及び対策
 - 道内各地の景気動向の把握方法及び今後の取組み
- 2 精神薄弱者の福祉対策について
 - 精神薄弱者の福祉対策の認識
 - 精神薄弱者関係施設への入所希望者数及び施設整備方針
 - 高齢入所者への対策
 - 地域における支援体制づくりに対する見解
- 3 食品衛生対策について
 - 安全確保対策に対する見解
 - ポストハーベスト農薬基準への対処
 - 道内の輸入食品に対する検疫体制
 - 輸入食品流通状況の把握対策

等について質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。

大橋 見議員（共産）から、

- 1 知事の政治姿勢について
 - 道政執行方針から憲法遵守を削除した理由
 - 軍事基地撤去等に対する見解
 - P K O活動への自衛隊派遣中止要請に対する見解
 - 自衛隊壮行会へ知事代理出席を行った理由
 - 国際貢献に対する見解
 - 金丸容疑者等の脱税事件に対する見解
 - 新長計汚職事件に対する認識
 - 戦略プロジェクト見直しに対する見解
 - 第3次行革審の答申に対する評価
 - 地方分権論と地方自治に対する考え
 - 地方自治拡充に対する見解
- 2 道道士幌然別湖線について
 - 知事の衆議院議員時代の予算特別委員会での質問の趣旨・目的と現在の道路建設推進の矛

盾の有無

- ・環境影響評価の評価凶削除問題に対する見解
- ・環境庁からの指導に対する受止め及び対処
- 3 在宅介護体制の充実と在宅ケア事業団について
 - ・本道の在宅福祉体制の現状に対する認識
 - ・訪問看護に関わる各組織の役割に対する評価及び連携・調整
 - ・福祉体制と医療との連携に対する支援
- 4 国立病院問題について
 - ・賃金職員問題の北海道地域保健医療計画への影響
 - ・賃金職員に対する措置の撤回を国に求めることに対する見解
 - ・賃金職員削減の救命救急センターの機能への影響
- 5 不況対策について
 - ・小企業特別資金を削減した理由
 - ・単独緊急特別資金の他府県での実施状況及び緊急融資再開に対する見解
 - ・零細企業への総合対策実施に対する見解
 - ・中小企業へ官公需の発注を増やすことに対する見解及び中小企業向け契約目標設定に対する見解並びに平成5年度の割合
 - ・建設業下請業者保護指導に対する見解
- 6 苫東開発の見直しについて
 - ・苫東開発破綻の原因及び開発方式転換に対する見解
- 7 農業後継対策について
 - ・離農問題に対する見解
 - ・農業後継者育成条例制定に対する見解
- 8 サケ・マス漁業問題について
 - ・漁業者の再生・再建策策定に対する認識
 - ・国際漁業の再編事業に対する取組み
- 9 教育問題について
 - ・最近10年間の私学助成の評価
 - ・私学団体の経常経費助成割合に対する見解
 - ・学校間格差是正に対する見解及び取組み
 - ・障害児養護学校高等部の定員拡大に対する見解

等について質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事及び教育長から答弁。同議員から再々質問、知事から答弁。会議規則第57条ただし書の規定による発言許可の後、同議員から発言があつて、質疑並びに質問を終結。

議長から、議案第1号ないし第18号、第24号、第33号、第34号及び第40号ないし第47号について、本議会に52人の委員をもって構成する予算特別委員会を設置し、これに付託の上、審査する旨を諮り、異議なく決定。次の委員を議長指名により選任。

○予算特別委員（52人）

萩原 信宏（共産）	伊藤 政信（社会）
岡本 修（社会）	小原 葉子（社会）
川尻 秀之（自民）	川村 正（自民）
清水 誠一（自民）	釣部 勲（自民）
山口幸太郎（自民）	山崎 正隆（自民）
風早 俊男（民政）	高橋由紀雄（社会）
平出 陽子（社会）	三津 丈夫（社会）
岩井 正明（社会）	小池 昌（社会）
佐藤 寛一（社会）	鈴木 泰行（社会）
藤沢 一雄（民政）	吉田 恵悦（公明）
佐藤 時雄（自民）	菅原 功一（自民）
高橋 一史（自民）	高橋 文明（自民）
伊達 忠一（自民）	永井 利幸（自民）
大野 新生（自民）	酒井 芳秀（自民）
畠山 博（自民）	平井 進（自民）
山口 真人（自民）	湯佐 利夫（自民）
綿貫 健輔（自民）	桜井 外治（自民）
西本 美嗣（社会）	深田 義勝（社会）
森 敏捷（社会）	大島 一郎（社会）
菊地 芳郎（社会）	谷川 英雅（社会）
石川十四夫（道政）	檜林 巖（社会）
神本 三也（社会）	舟山 広治（社会）
笠島 保（社会）	工藤 啓二（公明）
高橋 鉦（公明）	中川 義雄（自民）
久田 恭弘（自民）	川口 常人（自民）
佐々木利昭（自民）	高木 繁光（自民）

残余の案件については、議案付託一覧表のとおり、それぞれ所管の常任委員会に付託し、午後3時54分散会。

○3月19日（金） 午後3時58分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第40号ないし第55号を議題とし、予算特別、総務、文教各委員長、農政副委員長及び建設委員長から、それぞれ各委員会における付託案件の審査の経過と結果について報告の後、討

論に入り、大橋 晃議員（共産）から、議案第40号、第46号、第47号及び第50号ないし第54号に関する反対討論があつて、討論終結。

採決に入り、議案第40号、第46号、第47号及び第50号ないし第54号を問題とし、起立採決の結果、起立多数をもって委員長報告のとおり可決（共産反対）。

次に議案第41号ないし第45号、第48号、第49号及び第55号を問題とし、異議なく委員長報告のとおり可決。

各委員会付託議案審査のため、3月22日から3月23日まで休会することに決定して、午後4時17分散会。

予算特別委員長報告

私は、予算特別委員会に付託されました案件のうち、ただいま議題となりました議案第40号ないし第47号につきまして、その審査の経過と結果について御報告申し上げます。

御承知のとおり、本委員会は、昨日設置され、今次提案にかかわる平成5年度各会計予算及び関連議案等21件並びに平成4年度各会計補正予算8件の29件が付託されたのでありますが、本委員会といたしましては、直ちに正・副委員長の互選を行いますとともに、議案審査の方法等について協議いたしました結果、ただいま議題となっております平成4年度各会計補正予算につきましては、年度末も切迫しておりますことから、これを先議することに決定し、本日、委員会を開き、審査を行った次第であります。

質疑の主なるものを申し上げますと、

財政運営等に関し、平成4年度の財政運営に対する認識及び多額の余裕が生じた理由、減収補てん債の発行状況と理由、道債残高の現状と圧縮方策、基金残高と適正規模に対する見解、本道経済の推移と企業倒産の状況、道税収入の現状と減額補正などに対する認識、市町村の税収見込み、経費節減の取組状況、今後の道財政に対する認識など。

金融行政に関し、北海道信用保証協会に対する出資状況と考え方、緊急経営支援資金の融資対象の改善等に対する見解など。

児童対策に関し、特別保育所設置費補助金の

減額補正の理由、僻地保育所の現状に対する認識など。

交通対策に関し、地方バス路線維持対策事業費補助金の減額補正の理由、路線廃止後の交通手段の確保に対する認識など。

造林補助金とゴルフ場に関し、返還金収入の内容、ゴルフ場造成にかかわる林地開発許可等の現状と認識、森林の確保のための取組状況。

土地行政に関し、土地利用推進費の減額補正の理由、広島町に新設予定のゴルフ場に関連する問題。

などあります。

質疑終結後、各派代表者間におきまして、各案件について意見の調整を図りました結果、議案第40号、第46号及び第47号につきましては、意見の一致を見るに至らず、採決の結果、賛成者多数をもって原案可決、その他の案件、すなわち、議案第41号ないし第45号は、全会一致、原案可決と決定した次第であります。

以上、本委員会において先議いたしました議案審査の経過と結果を申し上げた次第であります。平成5年度各会計予算及びこれに関連する議案につきましては、速やかに審査を行い、後日、御報告申し上げたいと存じます。

以上をもって、私の報告を終わります。

○3月24日（水） 午後4時39分開議、諸般の報告の後、

日程第1 会期延長の件を議題とし、会期を3月26日まで2日間延長することを諮り、異議なく決定。各委員会付託議案審査のため、3月25日は休会することに決定して、午後4時40分散会。

○3月26日（金） 午後3時57分開議、あらかじめ会議時間を延長し、午後3時58分休憩、午後8時35分再開。諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第37号を議題とし、予算特別、総務、生活福祉、水産林務、文教、保健環境、建設各委員長から、それぞれ各委員会における付託案件の審査の経過と結果について報告の後、討論に入り、萩原信宏議員（共産）から、議案第1号、第16号ないし第19号、第27号、第30号及び第31号に関する反対討論並びに議案第24号及び第29号に関する賛成討論があつて、討論終結。

採決に入り、議案第1号、第16号ないし第19号、第27号、第30号及び第31号を問題とし、起立採決

の結果、起立多数をもって委員長報告のとおり可決（共産反対）。

次に議案第2号ないし第15号、第20号ないし第26号、第28号、第29号及び第32号ないし第37号を問題とし、異議なく委員長報告のとおり可決。

日程第2 決議案第1号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略し、異議なく原案のとおり可決。

日程第3 意見案第3号及び第4号を議題とし、意見案第3号について大橋 晃議員（共産）から提案説明があり、次に、意見案第4号について、提案説明を省略し、いずれも委員会付託を省略。

採決に入り、意見案第3号を問題とし、起立採決の結果、起立少数をもって否決（自民、社会、公明、民政、道政反対）。

次に、意見案第4号を問題とし、異議なく原案のとおり可決。

日程第4 意見案第5号ないし第7号を議題とし、提案説明及び委員会付託を省略し、いずれも異議なく原案のとおり可決。

日程第5 請願・陳情審査の件を議題とし、委員長報告を省略の上、異議なく請願・陳情審査報告書のとおり決定。

閉会中継続審査の件について、前会より継続審査中の報告第1号について、申出のとおり閉会中継続審査に付することを決定。

閉会中請願・陳情継続審査及び事務調査の件について、各常任委員長及び議会運営委員長並びに交通安全対策特別委員長から申出のとおり、閉会中継続審査または調査に付することを決定。

今期定例会に付議された案件は、前会より継続審査中の報告第1号を除きすべて議了。

議長から閉会のあいさつがあつて、午後9時13分閉会。

予算特別委員長報告

私は、予算特別委員会に付託されました議案のうち、さきに御報告申し上げました先議案件を除く議案第1号ないし第18号、第24号、第33号及び第34号の21件につきまして、その審査の経過と結果について御報告申し上げます。

これらの議案の審査方法につきましては、去る3月18日の委員会におきまして協議の結果、各部

所管に対する審査については、分科会方式により、これを行うこととし、直ちに3分科会を設置し、それぞれの案件を付託した次第であります。

各分科会におきましては、同日、正・副委員長の互選を行った結果、

第1分科会は、委員長に 高橋 文明君
副委員長に 佐藤 寛一君

第2分科会は、委員長に 岩井 正明君
副委員長に 佐藤 時雄君

第3分科会は、委員長に 永井 利幸君
副委員長に 鈴木 泰行君

を選任するとともに、審査の方法等につきまして協議を行い、3月22日から、各部所管の審査に入り、3月25日をもって各分科会の質疑を終了し、本日の委員会において、各分科委員長より分科会における審査経過の報告書が提出された次第であります。

御承知のとおり、今回付託されました先議案件を除く案件は、平成5年度一般会計及び特別会計を合わせ、総額2兆7,389億9,200万円余に及ぶ予算並びにこれに関連する議案でありまして、これらの案件を中心に、道政各般にわたり熱心な質疑が交わされた次第であります。

なお、各分科会における質疑の概要につきましては、別紙お手元に配付の報告書により御承知願いたいと存じます。

本委員会といたしましては、分科会において質疑保留となった事項につきまして、本日、総括質疑を行い、付託案件に対する一切の質疑を終結した次第であります。その総括質疑の主なるものを申し上げます、

1. 新長期総合計画について
 1. 戦略プロジェクトについて
 1. 道政の基本方向について
- などであります。

質疑終結後、各派代表者間におきまして、各案件について意見の調整を図りました結果、議案第1号及び第16号ないし第18号については、意見の一致を見るに至らず、採決の結果、賛成者多数をもって原案可決、その他の案件、すなわち、議案第2号ないし第15号、第24号、第33号及び第34号は、いずれも全会一致、原案可決と決定した次第であります。

なお、審査の経緯にかんがみ、次の意見、すなわち、

今日の本道経済は、民間企業の設備投資や個人消費の低迷により、極めて厳しい状況に置かれている。

よって、道の景気対策関連予算の執行に当たっては、地元中小建設業に対する受注機会の拡大に留意した工事の早期発注を初め過疎地域などへの優先配分や道産資材の積極的利用を図るとともに、中小企業に対する金融の円滑化に十分配慮するなど、適切に対処するよう努めるべきである。との附帯意見を付されたいとの動議が提出され、全会一致、これを決定した次第であります。

以上、本委員会に付託されました議案審査の経過と結果を申し上げ、私の報告を終わります。

第1回定例会において知事から提出のあった案件

議 案

提出月日	番号	件 名	付託委員会	議決月日	議事結果
2. 23	1	平成5年度北海道一般会計予算	予算特別	3. 26	原案可決
同	2	平成5年度北海道札幌医科大学医学部附属病院特別会計予算	同	同	同
同	3	平成5年度北海道公債管理特別会計予算	同	同	同
同	4	平成5年度北海道母子福祉資金貸付事業特別会計予算	同	同	同
同	5	平成5年度北海道寡婦福祉資金貸付事業特別会計予算	同	同	同
同	6	平成5年度北海道小児総合保健センター事業特別会計予算	同	同	同
同	7	平成5年度北海道中小企業近代化資金貸付事業特別会計予算	同	同	同
同	8	平成5年度北海道農業改良資金貸付事業特別会計予算	同	同	同
同	9	平成5年度北海道林業改善資金貸付事業特別会計予算	同	同	同
同	10	平成5年度北海道沿岸漁業改善資金貸付事業特別会計予算	同	同	同
同	11	平成5年度北海道公共下水道事業特別会計予算	同	同	同
同	12	平成5年度北海道流域下水道事業特別会計予算	同	同	同
同	13	平成5年度北海道地方競馬特別会計予算	同	同	同
同	14	平成5年度北海道病院事業会計予算	同	同	同
同	15	平成5年度北海道有林野事業会計予算	同	同	同
同	16	平成5年度北海道工業団地開発事業会計予算	同	同	同
同	17	平成5年度北海道電気事業会計予算	同	同	同
同	18	平成5年度北海道工業用水道事業会計予算	同	同	同
同	19	北海道核燃料税条例案	総 務	同	同
同	20	北海道社会福祉士及び介護福祉士修学資金貸付条例案	生活福祉	同	同
同	21	北海道森林整備担い手対策基金条例案	水産林務	同	同
同	22	北海道美術品取得基金条例案	文 教	同	同
同	23	北海道職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案	総 務	同	同
同	24	北海道職員等の定数に関する条例の一部を改正する条例案	予算特別	同	同
同	25	北海道ウタリ子弟大学等修学資金等貸付条例の一部を改正する条例案	生活福祉	同	同
同	26	北海道立心身障害者総合相談所条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	27	北海道立診療所条例の一部を改正する条例案	保健環境	同	同
同	28	北海道立衛生学院等看護職員課程修学資金貸付条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	29	北海道建築基準法施行条例の一部を改正する条例案	建 設	同	同
同	30	北海道公営住宅条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	31	北海道立道民の森条例の一部を改正する条例案	水産林務	同	同
同	32	北海道立少年自然の家条例の一部を改正する条例案	文 教	同	同
同	33	北海道地方警察職員の定員に関する条例の一部を改正する条例案	予算特別	同	同
同	34	宝くじの発売に関する件	同	同	同
同	35	訴えの提起に関する件	建 設	同	同

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
2. 23	36	河川法に基づく一級河川の指定等についての意見に関する件	建設	3. 26	原案可決
同	37	財産の処分（建物・岩内郡岩内町字野束69番地の54）に関する件	同	同	同
同	38	平成4年度北海道一般会計補正予算（第6号）		2. 23	同
同	39	平成4年度北海道病院事業会計補正予算（第3号）		同	同
3. 3	40	平成4年度北海道一般会計補正予算（第7号）	予算特別	3. 19	同
同	41	平成4年度北海道公債管理特別会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	42	平成4年度北海道中小企業近代化資金貸付事業特別会計補正予算（第2号）	同	同	同
同	43	平成4年度北海道公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	44	平成4年度北海道流域下水道事業特別会計補正予算（第2号）	同	同	同
同	45	平成4年度北海道有林野事業会計補正予算（第2号）	同	同	同
同	46	平成4年度北海道工業団地開発事業会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	47	平成4年度北海道工業用水道事業会計補正予算（第2号）	同	同	同
同	48	北海道土地開発基金条例の一部を改正する条例案	総務	同	同
同	49	北海道学校職員等の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案	文教	同	同
同	50	農村活性化住環境整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	農政	同	同
同	51	農村広域生活環境整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	同	同	同
同	52	道営土地改良事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	同	同	同
同	53	国営土地改良事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	同	同	同
同	54	都市公園事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	建設	同	同
同	55	工事請負契約の変更（道道幌糠小平停車場路線道路改良〔中幌トンネル〕）に関する件	同	同	同

報 告

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
2. 23	1	専決処分報告の件（工事請負契約の変更〔平成3年11月19日専決処分した工事請負契約の締結、平成3年12月10日報告した報告第4号に係わるもの〕に関する件、平成5年2月9日専決処分）			報告のみ
同	2	専決処分報告の件（工事請負契約の変更〔平成3年11月19日専決処分した工事請負契約の締結、平成3年12月10日報告した報告第5号に係わるもの〕に関する件、平成5年2月9日専決処分）			同
同	3	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定、平成5年1月20日4件、平成5年2月8日1件、平成5年2月12日2件、平成5年2月17日3件専決処分）			同

前会から継続審査中の案件

報 告

提出月日	番号	件 名	付託委員会	議決月日	議事結果
4.12.1	1	平成3年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件	決算特別	5.3.26	継続審査

第1回定例会において議員から提出のあった案件

決 議 案

提出月日	番号	件 名	提 出 者	議決月日	議事結果
3.26	1	金丸脱税事件などの疑惑解明と、抜本的政治改革を求める決議	神戸典臣議員 ほか4人	3.26	原案可決

意 見 案

提出月日	番号	件 名	提 出 者	議決月日	議事結果
3.4	1	酪農・畜産振興施策に関する意見書	大野新生議員 ほか11人	3.4	原案可決
3.10	2	北海道新幹線の早期建設に関する意見書	久田恭弘議員 ほか18人	3.10	同
3.26	3	消費税の食料品非課税等に関する意見書	大橋 晃議員 ほか1人	3.26	否 決
同	4	所得税減税等の大幅実施に関する意見書	神戸典臣議員 ほか4人	同	原案可決
同	5	国立病院・療養所の改善計画に関する意見書	神戸典臣議員 ほか5人	同	同
同	6	児童福祉施設最低基準における保育所保母配置基準の改善に関する意見書	工藤啓二議員 ほか13人	同	同
同	7	歯科保険制度の改善を求める意見書	同	同	同

決 議 案

決議案第1号 金丸脱税事件などの疑惑解明と、抜本的政治改革を求める決議

平成5年1定
神戸典臣議員ほか4人提出
平成5年3月26日原案可決

東京佐川急便など、政界の相つぐ疑獄事件は国民の政治への信頼を大きく失墜させた。

この最中に、金丸信前衆議院議員とその周辺に巨額な資産隠しと脱税行為が発覚したことは、政治と政治家への不信をますます深めることとなっている。

国会においては、国民の政治不信を払拭するため佐川疑惑や金丸脱税事件など、政治家からむ疑惑を徹底解明するとともに政治資金の規正強化、政治腐敗防止制度の確立など政治改革をすみやかに実施し、国会としての責任を果たすべきである。

また、検察においては、事件の厳正な解明をすすめるべきである。

右決議する。

平成 年 月 日

北海道議会

意 見 案

意見案第1号 酪農・畜産振興施策に関する意見書

平成5年1定
大野新生議員ほか11人提出
平成5年3月4日原案可決

本道の酪農・畜産は、恵まれた土地資源を活用し、生産性の向上や低コストで良質かつ安全な畜産物の安定供給に鋭意努力しているが、牛肉の輸入自由化等の影響による个体販売価格の低落から所得が大幅に減少しており、大変厳しい経営状態にあるとともに、酪農にあっては、所得確保のため、懸命に生産拡大に取り組んだ結果、相当な労働過重を招いている。

加えて、ガット・ウルグアイ・ラウンド交渉も全く予断を許さない情勢にあることから、酪農・畜産農家は今後の営農に対し、一段と不安を強めている。

このような状況の中で、本道酪農・畜産の健全な発展を図っていくためには、農業者が将来に意欲と展望を抱けるような確固たる価格政策や経営の体質強化対策などを推進する必要がある。

よって、国においては、本道の酪農・畜産の現状を十分認識し、その安定的な発展を図る観点に立って、左記事項について適切な措置を講ずるよう強く要望する。

記

1 乳製品の輸入規制措置の堅持について

乳製品については、国内での生産供給を基本として、現行輸入規制措置を堅持すること。

また、調整食用脂、ココア調製品等擬装乳製品の秩序ある輸入が行われるよう関係業界への適切な指導を実施すること。

2 平成5年度畜産物価格等について

(1) 加工原料乳保証価格について

加工原料乳保証価格については、最近における個体販売価格の低落が酪農経営に与えた大きな影響を十分考慮し、所得の回復と経営の安定が図られ、生産者が意欲と展望を持ってゆとりある営農に取り組めるよう適正に設定すること。

(2) 加工原料乳限度数量について

加工原料乳限度数量については、ゆとりある需給計画に基づき、適正に設定すること。

(3) 肉用子牛の保証基準価格等について

肉用子牛の保証基準価格については、再生産の確保はもとより、生産者が意欲と展望を持って生産拡大に取り組めるよう適正に設定すること。

また、合理化目標価格については、子牛生産や肥育経営の実態にも十分配慮し、輸入牛肉に対抗しうる牛肉生産が確保できる価格に設定すること。

(4) 指定食肉安定価格について

牛肉及び豚肉の安定価格については、再生産の確保と経営の安定が図られるよう適正に設定すること。

3 酪農・畜産の生産振興対策について

酪農・畜産経営の安定を図るため、低コスト生産の推進や経営改善などに必要な次の対策を講ずること。

(1) 生乳の安定生産対策について

中長期的な需給計画に基づく生乳の安定生産を推進するため、生乳需給調整基金の充実、適切な運用を図るなど、需給調整に必要な対策を講ずること。

(2) 担い手確保・育成対策について

若い担い手が意欲をもって営農に取り組めるよう、幅広い担い手確保・育成対策を実施すること。

また、酪農ヘルパー制度については、E C諸国の制度などを考慮し、その確保に向け、必要な措置を講ずること。

(3) 経営体質の強化対策について

ア 酪農の生産基盤を確立するため、優良乳用牛の計画的生産対策を講ずるとともに、乳肉複合経営対策や乳牛改良対策など必要な対策を継続実施すること。

イ ゆとりある酪農経営の創出と安全で良質な生乳の生産体制を確立するため、必要な助成措置を講ずること。

ウ 肉用牛の生産基盤を確立するため、子牛の生産拡大や肥育経営安定緊急対策等を継続実施すること。

エ 肉用子牛生産者補給金制度における褐毛和種については、子牛の取引き実態に即し、黒毛和種と分離した品種区分を設定すること。

また、指定協会の借入金の円滑な償還対策を講ずること。

オ 生産性の高い酪農・肉用牛経営を確立するため、飼料コストの低減と良質粗飼料の生産拡大に必要な対策を講ずること。

カ 養豚生産基盤を確立するため、優良種豚の導入など必要な対策を充実すること。

キ 酪農・畜産経営の体質を強化し、経営の安定を図るとともに、担い手が意欲をもって営農に取り組めるよう、負債の借換えなどに必要な長期・低利な資金制度を創設すること。

(4) 農業生産資材の価格安定等について

生産コストに大きなウエイトを占める農業生産資材の価格と供給の安定が図られるよう適切な措置を講ずること。

(5) 国産チーズ生産振興対策について

国内生乳需要の拡大を図るため、消費の増大が見込まれる国産ナチュラルチーズについて、奨励金の現行水準を踏まえ、振興対策を引き続き講ずること。

(6) 消費拡大対策等について

ア 牛乳・乳製品及び食肉の消費拡大や新規用途開発に必要な対策を講ずること。

イ 良質な牛乳を低コストで供給するための広域流通体制の整備や飲用牛乳市場の安定化に必要な対策を講ずること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 若 狭 靖

内閣総理大臣、大蔵大臣 } 各通
農林水産大臣 }

意見案第2号 北海道新幹線の早期建設に関する意見書

〔平成5年1定
久田恭弘議員ほか18人提出
平成4年3月10日原案可決〕

北海道新幹線は、東北新幹線の整備と相まって、国土の軸を成す列島縦貫幹線形成のため推進すべき国家的プロジェクトであり、国土の均衡ある発展と北海道の産業の振興、道民生活の向上を図るうえで、欠くことのできない基幹施設であり、その早期建設に寄せる道民の期待は極めて大きいものがある。

しかしながら、昭和四十八年、東北など他の四線とともに、整備計画路線として決定されているものの、未だ環境影響評価も実施されていない状況にある。

よって、政府においては、二十四年の歳月と多額の資金を投入し、新幹線規格で完成している青函トンネルを有効活用し、新たな国土軸の形成を図る意味からも、平成五年の基本スキームの見直し時に、北海道新幹線（青森・札幌間）の着工を明記し、青森開業時の北海道乗り入れを含め、早期建設に着手するよう、強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 若 狭 靖

内閣総理大臣、大蔵大臣、運輸大臣 } 各通
自治大臣、北海道開発庁長官 }

意見案第4号 所得税減税等の大幅実施に関する意見書

〔平成5年1定
神戸典臣議員ほか4人提出
平成5年3月26日原案可決〕

今日、バブル崩壊等を背景として、景気が低迷し、雇用不安や所得の伸び悩み等が一段と深刻化している。

特に、国民総支出の六割を占める個人消費を広く喚起する上から、国民の税負担の軽減を図るなど、従来の公共投資も含めた総合的な景気対策が求められている。

よって、政府においては、内需拡大による景気浮揚を図るため、所得税減税をはじめ、住

宅減税や中小企業減税など、大幅な減税措置を早期に実施するよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 若 狭 靖

内閣総理大臣、大蔵大臣、内閣官房長官 各通

意見案第5号 国立病院・療養所の改善計画に関する意見書

平成5年1定
神戸典臣議員ほか5人提出
平成5年3月26日原案可決

国立病院・療養所は、戦後四十数年、特殊な疾病に対する医療を中心とした専門的な医療機関として、高度先駆的な医療や、地域医療の指導的役割を果たしているところである。

このような中で、国は、去る一月二十一日、本道の国立病院・療養所に対し、賃金職員の過員解消等の「改善計画」を通知した。

本道においては、「北海道地域保健医療計画」の中で、国立病院・療養所の位置付けとしては、特殊な疾病に対する医療など、道民の医療の確保について重要な役割を期待しておりその社会的使命は極めて大きなものがある。

よって、国におかれては、国立病院・療養所の「改善計画」の実施にあたって、医療の後退を招くことのないよう、今後とも機能充実について特段の配慮を強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 若 狭 靖

内閣総理大臣、厚生大臣 各通

意見案第6号 児童福祉施設最低基準における保育所保母配置基準の改善に関する意見書

平成5年1定
工藤啓二議員ほか13人提出
平成5年3月26日原案可決

出生率の低下や女性の就労機会の増大、さらには核家族化の進行などにより、子供を育てる環境づくりは重要な課題となっており、その中でも、保育所の果たさなければならない役割は大きくなってきている。

保育所保母の定数は、現行の配置基準が定められてから相当期間を経ており、保育内容の高度化や入所児童の多様化等に対応するため、その改善が求められている。

よって、政府においては、保育内容の高度化等に対応できるよう、児童福祉施設最低基準における保育所保母の配置基準の改善を図るよう要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 若 狭 靖

内閣総理大臣、大蔵大臣 } 各通
厚生大臣、自治大臣 }

意見案第7号 歯科保険制度の改善を求める意見書

〔平成5年1定
工藤啓二議員ほか13人提出
平成5年3月26日原案可決〕

現在わが国にはおおよそ一千万の人々が入歯を有し、この約半数が何らかの不満を持っているといわれている。その原因としては、口腔内の状況や技術的な困難性もあるが、現行の歯科保険点数が実態に即していないことも要因の一つである。

また、現在の歯科医療において、前歯部の修復方法として陶材焼付鑄造冠（メタルポンド冠）が広く普及し学問的にも臨床的にもその優秀性が認知されているが、現行の保険制度においては、保険給付の対象外であるため、患者の負担は大きなものとならざるを得ない現状にある。

歯科医師及びその他の歯科従事者が、その技術を生かし充分時間をかけて、患者の求める義歯を作れることができるよう診療報酬の改善・充実を早急に行い、併せて、道民のより良質な歯科医療を確保するため、陶材焼付鑄造冠を健康保険制度に導入すること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 若 狭 靖

内閣総理大臣、大蔵大臣 } 各通
厚生大臣、自治大臣 }

請 願 ・ 陳 情

① 第1回定例会において各常任・特別委員会に付託されたもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	請 願 者	付託委員会	審査の結果
70	転圧コンクリート舗装（RCCP）の試験施工の実施を求める件	北海道生コンクリート工業組合 理事長 川城 誠 外1人	建 設	継続審査
71	障害児の高等部希望者全入を求める件	障害児の高等部希望者全入を 考える十勝の会（ヒューマン ボイスト勝の会） 代表 鈴木 幸雄	文 教	同
72	高齢化社会における看護・介護分野での「家政婦」及び「看護婦・家政婦紹介所」の積極的活用に関する件	社団法人 日本臨床看護家政 協会北海道支部 支部長 松浦 晴子	生活福祉	同
73	最低保障年金制度の創設等を求める国への意見書提出に関する件	全日本年金者組合北海道本部 執行委員長 鈴木 好	同	同
74	保険で「良い入れ歯」の医療が受けられるよう改善を求める件	北海道母親大会連絡会 実行委員長 池田 米子 (外10件)	同	同

陳 情

文書表 番 号	件 名	陳 情 者	付託委員会	審査の結果
15	痴呆性老人在宅介護手当を求める件	北海道の高齢化社会をよくなる 女性の会 会長 杉山 佳子	生活福祉	継続審査
16	大型店舗の出店に伴う交通安全及び環境保全対策の充実を求める件	小樽市桜ヶ丘町内会 会長 戸田 和夫	保健環境	同
17	同	同	交通安全 対策特別	同

② 継続審査中のものであって、第1回定例会において採否の決定があったもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	請 願 者	付託委員会	審査の結果
66	保育所「最低基準」の職員配置の改善を求める意見書提出に関する件	北海道保育団体連絡会 会長 堀岡 英機	生活福祉	採 択
18	精神障害者の社会復帰及び福祉施策の充実を求める件	北海道精神障害者家族連合会 会長 須藤 重行	保健環境	同 (但し第2項 及び第3項 は採択済)
53	義務教育諸学校事務職員・栄養職員給与費の国庫負担法堅持を求める件	北海道教職員組合 中央執行委員長 若月 雅裕	文 教	議決不要
58	道立高等養護学校設置を求める件	根室管内道立高等養護学校設 置促進期成会 会長 中標津町長 進藤 松吉	同	採 択

陳 情

文書表 番 号	件 名	陳 情 者	付託委員会	審査の結果
9	精神障害者社会復帰施設の設置者負担の解消を求める件	北海道精神障害者社会復帰施 設協議会（準備会） 代表 岸本 芳朗 外1人	保健環境	採 択

委員会の動き

議会運営委員会

○2月16日(火) 開議 午後1時15分
散会 午後1時20分
議会運営委員会室

委員長 湯佐 利夫(自民)

1 小山誠司議員(社会)の逝去(2月3日)について

- ・議長から弔意を表した旨報告。
- ・各会派の議員数について報告。
自民52人、社会41人、公明6人、民政5人、共産2人、道政2人、欠員2人
- ・小山議員の逝去に伴う議席は空席とする。
- ・故小山誠司議員に対する追悼演説は、第1回定例会招集日冒頭に佐々木利昭議員(自民)が行う。

2 民政クラブから、会派役員の異動の届出があった旨報告。

3 第1回定例会について

- ・招集期日を2月23日とすることを了承。
- ・会期を30日間とする。
- ・総務部長から、提出予定案件について説明。
- ・日程について、次のとおり取り進める。

▽ 第1回定例会

2月23日 本会議(道政執行方針並びに提案説明、教育行政執行方針)

24日

～3月1日 休会

3月2日 本会議(代表質問)

3日 本会議(代表・一般質問)

4日・5日 本会議(一般質問)

6日・7日 休会

8日・9日 本会議(一般質問)

10日 本会議(一般質問、予算特別委員会設置)

11日 本会議(補正予算議決)

12日～23日 休会

24日 本会議

4 代表質問について

- ・順位を社会、自民、民政、公明とする。
- 5 石狩湾新港管理組合議会議員の補欠選挙について
- ・同組合管理者から、小山誠司議員の逝去により欠員1人生じたので、補欠選挙願いたい旨申出があり、本件の取扱いについて、各会派会長会議で協議中である。
 - ・本件に関する選挙方法等議事運営上の取扱いについて、後日協議する。

○2月22日(月) 開議 午前11時30分

散会 午前11時38分

議会運営委員会室

委員長 湯佐 利夫(自民)

1 元議員の逝去について

- ・深山和圀氏の逝去(名寄市選出、第15期～20期在職、2月15日逝去)について報告。

2 第1回定例会提出議案について

- ・総務部長から説明。
- ・議案第38号及び第39号について、先議する扱いとし、明日の本会議において委員会付託を省略し議決する。
- ・議案第38号及び第39号に関する質疑は各会派1名、質疑時間は1人10分程度、通告は本日午後3時までとする。

3 知事の提出議案に関する説明に先立ち、釧路沖地震による災害状況報告を行う。

4 代表質問の通告について

- ・2月26日正午までとする。

5 一般質問について

- ・順位は従来例による。
- ・通告は3月1日正午までとする。

6 予算特別委員会について

- ・委員会構成及び正副委員長の配分は配付資料のとおりとする。

- ・委員名簿は3月8日正午までに提出する。

7 石狩湾新港管理組合議会議員の補欠選挙について

- ・社会党・道民連合から西本美嗣議員を推せんしたいとの申出があった旨報告。
- ・選挙の方法は指名推せんによる。
- ・指名の方法は議長において指名する。
- ・補欠選挙を明日の本会議において行う。

8 休会について

- ・議案調査のため、2月24日から3月1日まで

休会し、3月2日再開する。

9 2月23日の本会議の議事順序は明日協議する。

○2月23日(火) 開議 午前9時33分
散会 午前9時37分
議会運営委員会室

委員長 湯佐 利夫(自民)

1 エネルギー問題調査特別委員の補欠選任について

- 社会党・道民連合から保格博夫議員を推せんする旨申出があり、本日の本会議において補欠選任する。

2 議案第38号及び第39号について

- 質疑の通告(6人)について報告。
- 本日の本会議において知事の提案説明を行い、一旦休憩し、再開後質疑を行う。
- 質疑の順位は通告一覧表記載のとおり進める。

3 本日の本会議の議事順序について

- 事務局長説明のとおりとする。

○3月2日(火) 開議 午前9時32分
散会 午後4時14分
議会運営委員会室

委員長 湯佐 利夫(自民)

1 元議員の逝去について

- 村上彝明氏の逝去(上川支庁選出、第19期～21期在職、2月24日逝去)について報告。

2 陳情の取扱いについて

- 陳情第17号を本日の本会議において、交通安全対策特別委員会に付託する。

3 追加提出予定案件について

- 総務部長から説明の後、了承。

4 代表質問について

- 通告(4人)について報告。
- 本日2人、明日2人行う。

5 一般質問について

- 通告(20人)について報告。
- 諸派の順位を今回は道政、共産の順とする。
- 個人別順位について、議事課長説明のとおりとする。

- 3月3日1人、4日5人、5日5人、8日2人、9日5人、10日2人の予定で行う。

6 本日の本会議の議事順序について

- 事務局長説明のとおりとする。午前9時37分休憩、午後4時13分再開。

7 神戸典臣議員(自民)の再質問に対する答弁準備の状況について

- 総務部長から、時間を要する旨発言。

8 本日の本会議について

- この程度にとどめ延会する。

○3月3日(水) 開議 午前9時33分
散会 午後3時25分
議会運営委員会室

委員長 湯佐 利夫(自民)

1 昨日の神戸典臣議員(自民)の再質問に対する答弁準備の状況について

- 総務部長から、なお時間を要する旨発言の後、了承。

2 追加提出案件について

- 総務部長から説明。
- 本日提出を受け、本件に関する知事の提案説明を行う時期は改めて協議する。

3 最終補正予算案及びこれに関連する議案の先議を了承。午前9時36分休憩、午後3時23分再開。

4 神戸議員の再質問に対する答弁準備の状況について

- 総務部長から、答弁準備ができた旨発言。
- 本日の本会議は神戸議員の再質問に対する知事の答弁から入る。

5 3番以降の代表質問の通告内容等に変更がないことを確認。

6 代表質問について

- 本日1人(継続)、明日2人行う。

7 一般質問について

- 明日代表質問終了後1人行い、その後の進め方については、改めて協議する。

8 本日の本会議について

- 神戸議員の代表質問(継続)を行い、延会する。

○3月4日(木) 開議 午前9時33分
散会 午後3時47分
議会運営委員会室

委員長 湯佐 利夫(自民)

1 昨日の野呂善市議員(自民)の議事進行発言の取扱いについて

- 総務部長から、時間を要する旨発言。午前9時34分休憩、午後3時45分再開。

- 2 野呂議員の議事進行発言の取扱いについて
 - 総務部長から、なお時間を要する旨発言の後、了承。
- 3 意見案の取扱いについて
 - 意見案第1号の提出があった旨報告。
 - 本日の本会議において、日程第1の議事を中止し、追加日程として上程し、議決する。
- 4 本日の本会議について
 - 意見案第1号を議決した後、延会する。

○3月5日(金) 開議 午前9時30分
散会 午後3時48分
議会運営委員会室
委員長 湯佐 利夫(自民)

- 1 3月3日の野呂善市議員(自民)の議事進行発言の取扱いについて
 - 総務部長から、なお時間を要する旨発言。午前9時31分休憩、午後3時47分再開。
- 2 野呂議員の議事進行発言の取扱いについて
 - 総務部長から、なお時間を要する旨発言。
- 3 本日の本会議について
 - 日程を延期し、延会する。

○3月8日(月) 開議 午後零時33分
散会 午後4時13分
議会運営委員会室
委員長 湯佐 利夫(自民)

- 1 3月3日の野呂善市議員(自民)の議事進行発言の取扱いについて
 - 総務部長から、なお時間を要する旨発言。午後零時34分休憩、午後4時12分再開。
- 2 野呂議員の議事進行発言の取扱いについて
 - 総務部長から、なお時間を要する旨発言。
- 3 本日の本会議について
 - 日程を延期し、延会する。
- 4 議員の欠席について
 - 酪農・畜産振興施策に関する中央折衝のため、農政委員長外3名が本日及び明日の本会議を欠席する旨了承。

○3月9日(火) 開議 午前9時35分
散会 午後4時17分
議会運営委員会室
委員長 湯佐 利夫(自民)

- 1 3月3日の野呂善市議員(自民)の議事進行

発言の取扱いについて

- 総務部長から、なお時間を要する旨発言。午前9時36分休憩、午後4時15分再開。
- 2 野呂議員の議事進行発言の取扱いについて
 - 総務部長から、補足答弁をしたい旨発言。
 - 本日の本会議は、神戸典臣議員(自民)の再質問に対する知事の補足答弁から入る。
 - 3 代表質問について
 - 通告内容等の変更がないことを確認。
 - 本日1人(継続)、明日2人行う。
 - 4 一般質問について
 - 明日2人行い、その後の進め方については、明日改めて協議する。
 - 5 本日の本会議について
 - 代表質問1人(継続)を行い、延会する。

○3月10日(水) 開議 午前9時34分
散会 午前9時38分
議会運営委員会室
委員長 湯佐 利夫(自民)

- 1 意見案の取扱いについて
 - 意見案第2号の提出があり、本日の本会議において議決する。
- 2 追加提出議案に関する知事の提案説明について
 - 本日代表質問終了後、日程第2の議事を中止し、追加日程として提案説明を行う。
- 3 一般質問について
 - 通告内容等の変更を了承。
 - 3月16日まで行うこととする。
 - 本日代表質問終了後2人、3月11日6人、12日6人、15日3人、16日3人の予定で行う。
- 4 予算特別委員会等のその後の日程について
 - 後日改めて協議する。
- 5 本日の本会議について
 - 代表質問2人行い、知事の提案説明の後、一般質問2人行う。
- 6 本日の本会議の議事順序について
 - 事務局長説明のとおりとする。

○3月11日(木) 開議 午前9時32分
散会 午前9時35分
議会運営委員会室
委員長 湯佐 利夫(自民)

- 1 一般質問について

- 通告内容等の変更を了承。
 - 本日6人行い、その後の進め方については明日協議する。
- 2 議員の欠席について
- 北海道新幹線早期建設に関する中央折衝のため、総合開発調査特別委員長外5名が明日の本会議を欠席する旨了承。
- 3 本日の本会議について
- 事務局長説明のとおりとする。

○3月12日(金) 開議 午前9時32分
散会 午前9時34分
議会運営委員会室
委員長 湯佐 利夫(自民)

- 1 一般質問について
- 通告内容等の変更を了承。
 - 本日6人行い、その後の進め方については、3月15日に協議する。
- 2 本日の本会議の議事順序について
- 事務局長説明のとおりとする。

○3月15日(月) 開議 午後零時53分
散会 午後零時55分
議会運営委員会室
委員長 湯佐 利夫(自民)

- 1 一般質問について
- 通告内容等の変更を了承。
 - 本日4人、明日4人行う。
- 2 今後の日程について
- 以下のように変更。
- | | |
|---------|---------------------|
| 3月15日 | 本会議(一般質問) |
| 16日 | 本会議(一般質問、予算特別委員会設置) |
| 17日 | 本会議(補正予算議決) |
| 18日~23日 | 休会 |
| 24日 | 本会議 |
- 3 本日の本会議の議事順序について
- 事務局長説明のとおりとする。

○3月16日(火) 開議 午前9時35分
散会 午後4時30分
議会運営委員会室
委員長 湯佐 利夫(自民)

- 1 一般質問について
- 通告内容等の変更を了承。

- 本日5人行う。
- 2 予算特別委員会について
- 各会派別分科委員数は、配付資料のとおり決定した旨報告。
 - 配付名簿のとおり委員を選任する。
- 3 議案の各委員会付託について
- 事務局長説明のとおりとする。
- 4 議案第40号ないし第55号について
- 明日、関係委員会の審査終了後、本会議において議決する。
- 5 本日の本会議の議事順序について
- 事務局長説明のとおりとする。午前9時39分休憩、午後4時28分再開。
- 6 今後の進め方について
- 本日の本会議はこの程度にとどめ延会し、明日一般質問4人行う。
 - 予算特別委員会の設置、委員の選任は一般質問終了後に行う。

○3月17日(水) 開議 午前9時32分
散会 午後3時5分
議会運営委員会室
委員長 湯佐 利夫(自民)

- 1 一般質問について
- 通告内容等の変更がないことを確認。
 - 一般質問4人行う。
- 2 予算特別委員会について
- 一般質問終了後設置し、委員の選任を行う。
- 3 議案の付託について
- 本日の本会議において、それぞれ関係委員会に付託する。
- 4 先議案件は明日議決する。
- 5 副知事の欠席について
- 畜産振興審議会総会出席のため、向田副知事が本日の本会議を欠席する旨了承。
- 6 本日の本会議の議事順序について
- 事務局長説明のとおりとする。午前9時34分休憩、午後3時2分再開。
- 7 今後の進め方について
- 本日一般質問1人行い延会し、明日3人行う。

○3月18日(木) 開議 午前9時35分
散会 午前9時37分
議会運営委員会室
委員長 湯佐 利夫(自民)

- 1 昨日の久田恭弘議員（自民）の再質問に対する答弁準備の状況について
 - ・総務部長から、準備ができた旨発言。
 - ・本日の本会議は久田議員の再質問に対する知事の答弁から入る。
- 2 一般質問について
 - ・通告内容等の変更を了承。
 - ・本日4人（1人継続）行う。
- 3 予算特別委員会について
 - ・本日、一般質問終了後設置し、委員の選任を行う。
- 4 議案の付託について
 - ・本日の本会議において、それぞれ関係委員会に付託する。
- 5 先議案件について
 - ・明日、関係委員会の審査終了後、本会議において議決する。
- 6 本日の本会議の議事順序について
 - ・事務局長説明のとおりとする。

○3月19日（金） 開議 午後3時39分
散会 午後3時41分
議会運営委員会室
委員長事故のため
副委員長 柏倉 勝雄(社会)

- 1 先議案件の各委員会における審議状況について
 - ・すべて議了した旨報告。
- 2 休会について
 - ・各委員会付託議案審査のため3月22日から23日まで休会し、24日再開する。
- 3 本日の本会議の議事順序について
 - ・事務局長説明のとおりとする。

○3月24日（水） 開議 午後4時3分
散会 午後4時5分
議会運営委員会室
委員長 湯佐 利夫（自民）

- 1 各委員会付託議案の審議状況について
 - ・予算特別委員会第3分科会は終了、第1分科会で8人（継続1人）、第2分科会で4人、総括質疑で4人の質問者が残っている。
 - ・各常任委員会付託議案はいずれも議了していない。
- 2 会期の延長について

- ・本日中にすべてを議了するのは困難であり、会期を3月26日まで2日間延長する。
- 3 休会について
 - ・各委員会付託議案審査のため、3月25日休会、3月26日再開する。

○3月26日（金） 開議 午後3時35分
散会 午後8時5分
議会運営委員会室
委員長 湯佐 利夫（自民）

- 1 本日の本会議について
 - ・取り敢えず会議時間を延長することを決定。午後3時40分休憩、午後7時59分再開。
- 2 各委員会付託議案の審議状況について
 - ・すべて議了した旨報告。
- 3 決算特別委員会の審議状況について
 - ・前会より継続審査中の報告第1号は、継続審査の申出があったことを報告。
- 4 決議案及び意見案の取扱いについて
 - ・決議案第1号の提出があり、本日の本会議において議決する。
 - ・意見案第3号ないし第7号の提出があり、本日の本会議において議決する。
- 5 請願・陳情の審査について
 - ・各関係委員会から審査報告のあった請願・陳情について、本日の本会議において議決する。
- 6 閉会中継続調査申出について
 - ・会議規則第80条の規定により、閉会中継続調査を申し出る。
- 7 地方税法の改正に伴う道税条例の改正の専決処分について
 - ・改正法の公布を待って、専決処分することを了承。
- 8 副知事の欠席について
 - ・畜産振興審議会酪農部会出席のため、向田副知事が本日の本会議を欠席する旨了承。
- 9 再開後の本会議の議事順序について
 - ・事務局長説明のとおりとする。

常任委員会

総務委員会

○1月12日(火) 開議 午後1時22分
散会 午後1時46分
第5委員会室
委員長 平井 進(自民)

一般議事

- ① 平成5年度国の北海道関係予算に関する中央折衝の実施結果の報告を了承。
- ② 総務部長、企画振興部長及び警察本部総務部長から、平成5年度国の北海道関係予算について報告。
木本由孝委員(自民)から質疑
- ③ 企画振興部長から、オホーツク科学文化交流拠点構想の承認について報告。

○1月25日(月) 開議 午後3時19分
散会 午後3時29分
第5委員会室
委員長 平井 進(自民)

一般議事

- ① 総務部長から、釧路沖地震被害状況について報告。
- ② 釧路沖地震災害状況に関する現地調査の実施を決定。

○2月2日(火) 開議 午後1時52分
散会 午後2時7分
第5委員会室
委員長 平井 進(自民)

一般議事

- ① 総務部長から、釧路沖地震被害状況について報告。
- ② 釧路沖地震被害状況に関する現地調査の実施概要の報告を了承。
- ③ 釧路沖地震災害に関する中央折衝の実施を決定。
- ④ 小野寺 勇委員(自民)から質疑
平成4年度道税収入見通しについて

○2月22日(月) 開議 午前10時32分
散会 午前11時1分
第5委員会室
委員長 平井 進(自民)

一般議事

- ① 総務部長、企画振興部長及び警察本部総務部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。
- ② 平成5年釧路沖地震災害に関する中央折衝の実施概要の報告を了承。
- ③ 企画振興部長から、地方拠点都市地域の指定について報告。
- ④ 警察本部総務部長から、警察官等の制服の改正について報告。

○3月19日(金) 開議 午後3時4分
散会 午後3時33分
第5委員会室
委員長 平井 進(自民)

付託案件の審査

議案第48号

北海道土地開発基金条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

一般議事

- 警察本部交通部長から、道内における冬期交通事故の発生状況等について報告。
永井 利幸委員(自民)及び久田恭弘委員(自民)から質疑

○3月26日(金) 開議 午後6時47分
散会 午後6時55分
第5委員会室
委員長 平井 進(自民)

付託案件の審査

議案第19号

北海道核燃料税条例案 (原案可決)

議案第23号

北海道職員の特種勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

一般議事

- ① 請願・陳情について、今後付託されるものを含め閉会中継続審査の申出をすることを決定。
- ② 所管事務について閉会中継続調査の申出をすることを決定。

- ③ 総務部長から、専決処分予定事案について説明後、これを了承。

生活福祉委員会

○1月12日(火) 開議 午後1時30分
散会 午後3時5分
第9委員会室
委員長 工藤 啓二(公明)

一般議事

- ① 平成5年度国費予算に関する中央折衝の実施概要の報告を了承。
② 生活福祉部長から、平成5年度国費予算の概要について説明。
③ 生活福祉部長から、老人保健福祉計画に係る道の指導指針について説明。
山口真人委員(自民)、大橋 晃委員(共産)及び藤井 猛委員(自民)から質疑

○2月2日(火) 開議 午後2時5分
散会 午後2時50分
第9委員会室
委員長 工藤 啓二(公明)

一般議事

- ① 北霊碑慰霊祭参列の実施概要の報告を了承。
② 生活福祉部長から、釧路沖地震に係る社会福祉施設等の被災状況について報告。
山口幸太郎委員(自民)、山口真人委員(自民)及び大橋 晃委員(共産)から質疑
③ 生活福祉部長から、大橋 晃委員(共産)より質疑のあった事項で答弁保留となっていた事項について説明。
④ 大橋 晃委員(共産)から質疑
アイヌ対策について

○2月22日(月) 開議 午前10時30分
散会 午前11時5分
第9委員会室
委員長 工藤 啓二(公明)

一般議事

- ① 生活福祉部長から、障害者に関する新北海道行動計画について報告。
藤井 猛委員(自民)及び大橋 晃委員(共産)から質疑

- ② 生活福祉部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。

本日聴取した請願

保育所「最低基準」の職員配置の改善を求める意見書提出に関する件
北海道保育団体連絡会

○3月26日(金) 開議 午後7時
散会 午後7時17分
第9委員会室
委員長 工藤 啓二(公明)

付託案件の審査

議案第20号
北海道社会福祉士及び介護福祉士修学資金貸付条例案 (原案可決)
藤井 猛委員(自民)から質疑

議案第25号
北海道ウタリ子弟大学等修学資金等貸付条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

議案第26号
北海道立心身障害者総合相談所条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

請願・陳情の審査

請願第66号
保育所「最低基準」の職員配置の改善を求める意見書提出に関する件 (採択)
大橋 晃委員(共産)から質疑

一般議事

- ① 児童福祉施設最低基準における保育所保母配置基準の改善に関する意見案の発議を決定。
② 歯科保険制度の改善に関する意見案の発議を決定。
③ 請願・陳情について、閉会中継続審査の申出をすることを決定。
④ 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。

保健環境委員会

○1月12日(火) 開議 午後1時15分
散会 午後2時8分
第3委員会室
委員長 輪島 幸雄(社会)

一 般 議 事

(原案可決)

- ① 北海道献血推進協議会委員に、畠山 博委員(自民)、萩原信宏委員(共産)を推薦。
- ② 平成5年度国費予算に関する中央折衝の実施概要の報告を了承。
- ③ 保健環境部長から、平成5年度国費予算の概要について報告。
- ④ 保健環境部長から、老人保健福祉計画に係る道の指導指針の概要について報告。
- ⑤ 萩原信宏委員(共産)から質疑
 - (1) 湿原保全について
 - (2) 精神障害者の社会復帰対策について

○2月2日(火) 開議 午後1時25分
散会 午後2時18分
第3委員会室
委員長 輪島 幸雄(社会)

一 般 議 事

- ① 保健環境部長から、釧路沖地震災害に係る保健環境関係被害概況について報告。
萩原信宏委員(共産)から質疑
- ② 萩原信宏委員(共産)から質疑
 - (1) テレビゲームと健康の問題について
 - (2) 土幌高原道路と自然環境保全の問題について

○2月22日(月) 開議 午前10時37分
散会 午前11時20分
第3委員会室
委員長 輪島 幸雄(社会)

一 般 議 事

- ① 保健環境部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。
- ② 保健環境部長から、北海道地域保健医療計画(案)について報告。
- ③ 萩原信宏委員(共産)から質疑
国立病院の人員削減問題について

○3月26日(金) 開議 午後6時42分
散会 午後6時53分
第3委員会室
委員長 輪島 幸雄(社会)

付託案件の審査

議案第27号
北海道立診療所条例の一部を改正する条例案

萩原信宏委員(共産)から質疑
議案第28号

北海道立衛生学院等看護職員課程修学資金貸付条例の一部を改正する条例案(原案可決)

請願・陳情の審査

請願第18号
精神障害者の社会復帰及び福祉施策の充実を求める件
(採択(但し第2項及び第3項は採択済み))

陳情第9号
精神障害者社会復帰施設の設置者負担の解消を求める件
(採択)

一 般 議 事

- ① 請願・陳情について、今後付託されるものを含め閉会中継続審査の申出をすることを決定。
- ② 保健環境部長から、MRS A院内感染防止対策実施状況調査結果について報告。
- ③ 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。

商工労働観光委員会

○1月12日(火) 開議 午後1時27分
散会 午後1時50分
第8委員会室
委員長 関根 建二(社会)

一 般 議 事

- ① 平成5年度国費予算に関する中央折衝の実施概要の報告を了承。
- ② 商工労働観光部長及び企業局長から、平成5年度国費予算の概要について説明。
- ③ 商工労働観光部長から、平成4年度商工労働観光白書の概要について説明。
- ④ 菅原功一委員(自民)から、大店法違反に関する指導結果の資料要求。

○2月2日(火) 開議 午後1時32分
散会 午後1時45分
第8委員会室
委員長 関根 建二(社会)

一 般 議 事

- ① 商工労働観光事情に関する道外調査の実施概要の報告を了承。

- ② 商工労働観光部長及び企業局長から、釧路沖地震の被害の概要について説明。
吉川貴盛委員（自民）から質疑
- ③ 商工労働観光部長から、苫小牧東部大規模工業基地用地の開発及び売買に関する基本協定の売買年次の延長について報告。

白老町議会
白老町農業協同組合

○2月22日（月） 開議 午前10時23分
散会 午前10時57分
第8委員会室
委員長 関根 建二（社会）

一般議事

- ① 商工労働観光部長及び企業局長から、第1回定例会提出予定案件について説明。
- ② 商工労働観光部長から、苫小牧東部大規模工業基地開発計画の今後の進め方について報告。

○3月26日（金） 開議 午後7時5分
散会 午後7時8分
第8委員会室
委員長 関根 建二（社会）

一般議事

- ① 請願・陳情について、閉会中継続審査の申出をすることを決定。
- ② 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。

農政委員会

○1月12日（火） 開議 午後1時52分
散会 午後2時
第7委員会室
委員長 大野 新生（自民）

一般議事

- ① 平成5年度国の北海道関係予算並びに「農畜産物の完全自由化につながる『包括的関税化』拒否に関する意見書」及び「第4次土地改良長期計画に関する意見書」に関する中央折衝の実施概要の報告を了承。
- ② 農政部長から、平成5年度農業関係国費予算について報告。

本日聴取した陳情

黒毛和種の生産振興に関する要請
白老町

○2月2日（火） 開議 午前10時20分
散会 午前10時30分
第7委員会室
委員長 大野 新生（自民）

一般議事

- ① 農政部長から、平成5年釧路沖地震による農業被害について報告。
湯佐利夫委員（自民）から質疑及び要望。
- ② 農業被害に関する道内調査の実施を決定。
- ③ 農政部長から、平成4年度農業試験研究の成果について報告。
湯佐利夫委員（自民）から意見及び要望。

○2月22日（月） 開議 午前10時27分
散会 午前10時44分
第7委員会室
委員長 大野 新生（自民）

一般議事

- ① 釧路沖地震による農業被害の現地調査の実施概要の報告を了承。
- ② 農政部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。

○3月3日（水） 開議 午後4時4分
散会 午後4時5分
第7委員会室
委員長 大野 新生（自民）

一般議事

- 酪農・畜産振興施策に関する意見案の発議及び中央折衝の実施を決定。

○3月19日（金） 開議 午後2時57分
散会 午後2時59分
第7委員会室
委員長 大野 新生（自民）

付託案件の審査

- 議案第50号
農村活性化住環境整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件（原案可決）
- 議案第51号
農村広域生活環境整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件（原案可決）

議案第52号

道営土地改良事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件 (原案可決)

第4委員会室

委員長 勝木 省三 (自民)

議案第53号

国営土地改良事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件 (原案可決)

一般議事

- ① 土木部長及び住宅都市部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。
- ② 釧路沖地震に関する被害調査の実施概要の報告を了承。

○3月26日(金) 開議 午後6時53分
 散会 午後6時55分
 第7委員会室
 委員長 大野 新生 (自民)

一般議事

- 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。

○3月19日(金) 開議 午後3時10分
 散会 午後3時15分
 第4委員会室
 委員長 勝木 省三 (自民)

付託案件の審査

議案第54号

都市公園事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件 (原案可決)

議案第55号

工事請負契約の変更に関する件 (原案可決)

建設委員会

○1月12日(火) 開議 午後1時29分
 散会 午後1時44分
 第4委員会室
 委員長 勝木 省三 (自民)

一般議事

- ① 平成5年度国費予算に関する中央折衝の概要について報告。
- ② 土木部長及び住宅都市部長から、平成5年度国費予算の概要について説明。
- ③ 土木部長から、「第十一次道路整備五箇年計画(案)」に伴う北海道の整備目標について説明。

○3月26日(金) 開議 午後6時50分
 散会 午後6時59分
 第4委員会室
 委員長 勝木 省三 (自民)

付託案件の審査

議案第29号

北海道建築基準法施行条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

議案第30号

北海道公営住宅条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

議案第35号

訴えの提起に関する件 (原案可決)

議案第36号

河川法に基づく一級河川の指定等についての意見に関する件 (原案可決)

議案第37号

財産の処分に関する件 (原案可決)

○2月2日(火) 開議 午後1時44分
 散会 午後1時55分
 第4委員会室
 委員長 勝木 省三 (自民)

一般議事

- ① 土木部長及び住宅都市部長から、釧路沖地震に伴う被害状況について報告。
- ② 釧路沖地震に関する被害調査の実施を決定。
- ③ 住宅都市部長から、「道営住宅の敷地内における駐車場の整備のあり方等についての答申」について報告。

一般議事

- ① 請願・陳情について、今後付託されるものを含め閉会中継続審査の申出をすることを決定。
- ② 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。

○2月22日(月) 開議 午前10時33分
 散会 午前10時51分

水産林務委員会

○1月12日(火) 開議 午後1時37分
散会 午後1時50分
第2委員会室
委員長 吉野 之雄(社会)

一般議事

- ① 平成5年度水産林務関係国費予算及び太平洋小型さけ・ます流し網漁業問題並びに森林・林業・木材産業の活性化に関する中央折衝の実施概要の報告を了承。
- ② 水産部長及び林務部長から、平成5年度水産林務関係国費予算について報告。
- ③ 水産部長から、日・ロ地先沖合漁業交渉について報告。

○1月25日(月) 開議 午後1時10分
散会 午後1時17分
第2委員会室
委員長 吉野 之雄(社会)

一般議事

- ① 水産部長及び林務部長から、釧路沖地震による被害状況について報告。
- ② 釧路沖地震被害状況に関する道内調査の実施を決定。

○2月2日(火) 開議 午後2時6分
散会 午後2時26分
第2委員会室
委員長 吉野 之雄(社会)

一般議事

- ① 水産部長及び林務部長から、釧路沖地震による被害状況について報告。
綿貫健輔委員(自民)から質疑及び要望。
- ② 釧路沖地震被害状況に関する道内調査の実施概要の報告を了承。

○2月22日(月) 開議 午前10時30分
散会 午前10時52分
第2委員会室
委員長 吉野 之雄(社会)

一般議事

- 水産部長及び林務部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。

○3月26日(金) 開議 午後6時55分
散会 午後7時5分
第2委員会室
委員長 吉野 之雄(社会)

付託案件の審査

議案第21号
北海道森林整備担い手対策基金条例案
(原案可決)

議案第31号
北海道立道民の森条例の一部を改正する条例案
(原案可決)

一般議事

- ① 陳情について、閉会中継続審査の申出をすることを決定。
- ② 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。
- ③ 水産部長から、日・ロさけます漁業交渉の結果について報告。

文教委員会

○1月12日(火) 開議 午後1時27分
散会 午後1時48分
第10委員会室
委員長 酒井 芳秀(自民)

請願・陳情の審査

請願第53号
義務教育諸学校事務職員・栄養職員給与費の国庫負担法堅持を求める件 (議決不要)

一般議事

- ① 義務教育費国庫負担法一部適用除外に関する意見書及び平成5年度道関係国費予算に関する中央折衝の実施概要について報告。
- ② 教育長、企画管理部長及び学事課長から、平成5年度の国の文教予算について説明。

○2月2日(火) 開議 午後1時28分
散会 午後1時39分
第10委員会室
委員長 酒井 芳秀(自民)

一般議事

- ① 文教事情に関する道外調査の実施概要の報告を了承。
- ② 教育長、企画管理部長及び学事課長から、

釧路沖地震の被害状況について報告。

特別委員会

- 2月22日（月） 開議 午前10時39分
散会 午前11時16分
第10委員会室
委員長 酒井 芳秀（自民）

総合開発調査特別委員会

副委員長の互選

- ① 小山誠司副委員長（社会）の逝去に伴い、副委員長に岩井正明委員（社会）を選出。
- ② 理事に平出陽子委員（社会）を選出。（岩井正明委員（社会）の後任。）

一般議事

- 教育長、企画管理部長及び学事課長から、第1回定例会提出予定案件について説明。

- 1月13日（水） 開議 午前10時18分
散会 午前11時1分
第1委員会室
委員長 久田 恭弘（自民）
- ① 企画振興部長から、平成5年度国の北海道関係予算内示概要について説明。
大橋 晃委員（共産）から質疑
 - ② 企画振興部長から、オホーツク科学文化交流拠点構想の承認について報告。
 - ③ 企画振興部長から、北海道新長期総合計画第5次推進計画の資料について報告。

- 3月19日（金） 開議 午後3時1分
散会 午後3時3分
第10委員会室
委員長 酒井 芳秀（自民）

付託案件の審査

- 議案第49号
北海道学校職員等の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案（原案可決）

- 2月22日（月） 開議 午後零時
散会 午後零時28分
第1委員会室
委員長 久田 恭弘（自民）
- ① 企画振興部長及び参事監から、第1回定例会提出予定案件について説明。
 - ② 企画振興部長から、地方拠点都市地域の指定について報告。
 - ③ 企画振興部長から、日本海地域における当面の振興方策について報告。
大橋 晃委員（共産）から質疑
 - ④ 参事監から、新千歳空港24時間運用にかかわる試験運航について説明。

- 3月26日（金） 開議 午後6時55分
散会 午後7時9分
第10委員会室
委員長 酒井 芳秀（自民）

付託案件の審査

- 議案第22号
北海道美術品取得基金条例案（原案可決）
- 議案第32号
北海道立少年自然の家条例の一部を改正する条例案（原案可決）

請願・陳情の審査

- 請願第58号
道立高等養護学校設置を求める件（採択）

一般議事

- ① 請願・陳情については、閉会中継続審査の申出をすることを決定。
- ② 所管事務について閉会中継続調査の申出をすることを決定。

- 3月9日（火） 開議 午後4時57分
散会 午後5時3分
第1委員会室
委員長 久田 恭弘（自民）
- 北海道新幹線の早期建設に関する意見案の発議及び中央折衝の実施を決定。
大橋 晃委員（共産）から意見。

石炭対策特別委員会

- 1月13日(水) 開議 午前10時52分
散会 午前11時2分
第5委員会室
委員長 谷川 英雅(社会)
- ① 商工労働観光部長から、平成5年度国費予算の概要について説明。
- ② 石川十四夫委員(道政)から要望。
産炭地域の振興(特に中小企業の育成指導、協力)について
- 2月22日(月) 開議 午前11時48分
散会 午前11時55分
第5委員会室
委員長 谷川 英雅(社会)
- 商工労働観光部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。

北方領土対策特別委員会

- 1月13日(水) 開議 午前10時28分
散会 午前10時40分
第3委員会室
委員長事故のため
副委員長 深田 義勝(社会)
- ① 領対本部長から、平成5年度国の北海道関係予算について説明。
山口真人委員(自民)から要望。
- ② 領対本部長から、北方四島との交流に係る四島行政関係者との協議について説明。
- ③ 領対本部長から、総務庁長官の北方領土視察について説明。
- 2月3日(水) 開議 午前10時37分
散会 午前10時42分
第3委員会室
委員長 水岡 薫(自民)
- 領対本部長から、「北方領土の日」特別啓発について説明。
- 2月22日(月) 開議 午前11時49分
散会 午前11時57分

第3委員会室
委員長事故のため
副委員長 深田 義勝(社会)

- 領対本部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。

エネルギー問題調査特別委員会

- 1月13日(水) 開議 午前10時30分
散会 午前10時34分
第5委員会室
委員長 中川 義雄(自民)
- ① エネルギー問題調査に関する道外調査の実施を決定。
- ② 商工労働観光部長から、平成4年度北海道電力泊原子力発電所定期検査について説明。
- 2月3日(水) 開議 午前10時29分
散会 午前10時35分
第5委員会室
委員長 中川 義雄(自民)
- 商工労働観光部長から、平成5年度国費予算の概要について説明。
- 2月22日(月) 開議 午後零時6分
散会 午後零時12分
第5委員会室
委員長 中川 義雄(自民)
- ① 理事に小原葉子委員(社会)を選出。
(小山誠司委員(社会)の逝去)
- ② 商工労働観光部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。

交通安全対策特別委員会

- 1月13日(水) 開議 午前10時39分
散会 午前10時52分
第2委員会室
委員長 大島 一郎(社会)
- ① 生活福祉部長から、平成5年の交通安全運動の推進について説明。
木本由孝委員(自民)から要望。
- ② 警察本部交通部長から、平成4年の交通事

故の発生状況と平成5年の防止対策について報告。

- 2月3日(水) 開議 午前10時27分
散会 午前10時47分
第2委員会室
委員長 大島 一郎(社会)
- ① 警察本部交通部長から、1月末の交通事故発生状況及び当面の防止対策について報告。
 - ② 伊藤政信委員(社会)から質疑
脱スパイクタイヤについて

- 2月22日(月) 開議 午前11時48分
散会 午後零時4分
第2委員会室
委員長 大島 一郎(社会)
- ① 生活福祉部長及び警察本部交通部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。
木本由孝委員(自民)から質疑
 - ② 生活福祉部長から、平成5年の交通安全運動の実施計画について説明。

- 3月26日(金) 開議 午後7時25分
散会 午後7時32分
第2委員会室
委員長 大島 一郎(社会)
- ① 陳情について、閉会中継続審査の申出をすることを決定。
 - ② 警察本部交通部長から、道内における冬期交通事故の発生状況等について説明。

過疎地域振興対策特別委員会

- 1月13日(水) 開議 午前11時30分
散会 午前11時40分
第2委員会室
委員長 工藤 万砂美(自民)
- ① 過疎地域状況等に関する道外調査の実施概要の報告を了承。
 - ② 地域振興対策の状況等に関する道内調査の実施を決定。
 - ③ 地域振興室長から、中央要望事項に対する国の予算等の措置状況について報告。

- 2月22日(月) 開議 午後零時39分
散会 午後零時49分
第1委員会室
委員長 工藤 万砂美(自民)
- ① 過疎地域状況等に関する道内調査の実施概要の報告を了承。
 - ② 企画振興部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。
 - ③ 企画振興部長から、日本海地域における当面の振興方策について報告。

予算特別委員会

○3月18日（木） 開議 午後4時1分
散会 午後4時14分
第1委員会室
委員長 平井 進（自民）

正副委員長の互選

- ① 委員長に平井 進委員（自民）、副委員長に西本美嗣委員（社会）を選出。
- ② 付託案件に対する審査方法について、3分科会を設置し質疑を行うこととし、第1分科会は委員17人、所管は総務部、企画振興部、生活福祉部、人事委員会、公安委員会、出納局及び監査委員、第2分科会は委員17人、所管は保健環境部、土木部、住宅都市部、企業局及び教育委員会、第3分科会は、委員17人、所管は商工労働観光部、農政部、水産部及び林務部とすること、各分科会に付託する案件は配付の付託議案一覧のとおりとすること、各分科会における質疑保留事項に対する総括質疑は、本委員会において行うことを決定。
- ③ 各分科会の委員について、配付の委員名簿のとおり選出。

○第1分科会委員（17人）

伊藤 政信（社会）	小原 葉子（社会）
川尻 秀之（自民）	山口幸太郎（自民）
佐藤 寛一（社会）	高橋 文明（自民）
伊達 忠一（自民）	大野 新生（自民）
湯佐 利夫（自民）	西本 美嗣（社会）
深田 義勝（社会）	大島 一郎（社会）
石川十四夫（道政）	笠島 保（社会）
工藤 啓二（公明）	中川 義雄（自民）
高木 繁光（自民）	

○第2分科会委員（17人）

萩原 信宏（共産）	岡本 修（社会）
川村 正（自民）	釣部 勲（自民）
風早 俊男（民政）	高橋由紀雄（社会）
岩井 正明（社会）	小池 昌（社会）
佐藤 時雄（自民）	高橋 一史（自民）
酒井 芳秀（自民）	山口 真人（自民）
菊地 芳郎（社会）	檜林 巖（社会）
高橋 鉦（公明）	久田 恭弘（自民）

○第3分科会委員（17人）

清水 誠一（自民）	山崎 正隆（自民）
平出 陽子（社会）	三津 丈夫（社会）
鈴木 泰行（社会）	藤沢 一雄（民政）
吉田 恵悦（公明）	菅原 功一（自民）
永井 利幸（自民）	畠山 博（自民）
綿貫 健輔（自民）	桜井 外治（自民）
森 敏捷（社会）	谷川 英雅（社会）
神本 三也（社会）	舟山 広治（社会）
佐々木利昭（自民）	

- ④ 各分科会に分科委員長のほか分科副委員長1名を置くこと、分科委員の辞任及び補充選任並びに所属変更については本委員長において行うことを決定。
- ⑤ 付託案件の審査日程について、配付の日程表のとおりとすることを決定。
- ⑥ 質疑の方法等について、通告の形式により一括して行うこと、一問一答方式により行う場合は、委員長に申し出ること、発言の順位は、本会議における一般質問に準ずること、先議案件は一括して質疑を行うことを決定。
- ⑦ 議席について、配付の議席表のとおりとすることを決定。
- ⑧ 本委員会の運営に当たり、正副委員長及び各分科会の正副委員長をもって構成する理事会を設置してその協議により運営すること、正副委員長の配分のない会派についても理事会に出席願うことを決定。
- ⑨ 山口真人委員（自民）から委員長選出方法について質疑。

○3月19日（金） 開議 午前10時20分
散会 午後2時44分
第1委員会室
委員長 平井 進（自民）

- ① 議案第40号ないし第47号（先議案件）を一括議題とし、質疑に入り、
石井 孝一委員（自民）から、
財政運営について
 - ・財政運営の認識
 - ・交付税の確保
 - ・減収補填債

- ・道債残高
- ・地方債
- ・基金残高と適正規模
- ・道税収入
- ・市町村の税収入と減収補填
- ・経常経費の削減

等について

萩原 信宏委員（共産）から、

- 1 金融行政について
 - ・北海道信用保証協会出資金
 - ・緊急経営支援資金
- 2 児童対策について
 - ・へきち保育所
- 3 交通対策について
 - ・地方バス路線維持対策事業費補助金の削減
 - ・路線廃止後の交通手段について
 - ・市町村の廃止路線代替バス事業
 - ・廃止路線代替バス
 - ・過疎地域における交通手段の確保
- 4 造林補助とゴルフ場について
 - ・補助金返還金収入
 - ・ゴルフ場造成に係る林地開発許可
 - ・人口林の転用
 - ・造林地のゴルフ場への転用
 - ・森林確保のための取組
- 5 土地行政について
 - ・土地総合利用推進費の減額補正
 - ・広島町のゴルフ場面積
 - ・環境緑地保護地区
 - ・ゴルフ場規制要綱のただし書き

等について質疑、意見及び要望があり、総務部長、企画振興部長、商工労働観光部長、林務部長、生活福祉部長、財政課長、税務課長、商工金融課長、児童家庭課長、土地水対策課長及び交通対策課長から答弁があって質疑を終結。

- ② 先議案件に対する意見の調整は、各派代表者会議において行うことを決定。
- ③ 各派代表者会議における意見調整の結果、議案第40号、第46号及び第47号について意見の一致を見るに至らなかった旨の報告の後、これを問題とし、萩原信宏委員（共産）から反対討論の後、採決に入り、起立採決の結果、起立多数をもって原案のとおり可決することを決定。
- ④ 議案第41号ないし第45号を一括議題とし、原案のとおり可決することを決定。

- ⑤ 先議案件に対する委員長報告については、委員長に一任することを決定。



第 1 分 科 会

○ 3月18日（金） 開議 午後4時16分
 散会 午後4時26分
 第1委員会室
 第1分科委員長
 高橋 文明（自民）

正副委員長の互選

- ① 分科委員長に高橋文明委員（自民）、分科副委員長に佐藤寛一委員（社会）を選出。
- ② 付託案件の審査日程、質疑の方法について決定。
- ③ 本分科会の運営について、自民、社会、公明、各1名、計3名の理事を選び、その協議により行うことを決定。理事に、伊達忠一委員（自民）、深田義勝委員（社会）、工藤啓二委員（公明）を選出。なお、道政については、オブザーバーの扱いとすることを決定。
- ④ 分科委員外委員の発言の取扱いについては、その都度分科会に諮り決定することとした。
- ⑤ 議席について、配付の議席表のとおりとすることを決定。

○ 3月22日（月） 開議 午後1時25分
 散会 午後4時30分
 第1委員会室
 第1分科委員長
 高橋 文明（自民）

- 公安委員会所管に対する質疑に入り、

乙川 節郎委員（公明）から、

交通対策について

- ・東京都等における交通対策システムの概要
- ・札幌市内の違法駐車抑止システムの整備状況
- ・札幌市内の駐車場誘導システムの整備状況
- ・札幌市内の交通の分散・誘導システムの状況
- ・新交通管制センターにおける渋滞対策システム整備の考え方
- ・右折矢印信号機等の整備の考え方

- ・北海道及び札幌地方の整備計画の規模と新年度の開設、改良
- ・札幌市内に流入する車両への交通マップ活用等の対応状況
- ・大規模な災害発生時の交通確保システム整備の考え方
- ・都心部への車両乗り入れ制御システム整備への見解
- ・交通渋滞解消の総合的な対策への所見

等について、質疑、意見及び要望があり、交通規制課長及び交通部長から答弁があって、公安委員会所管に対する質疑を終結。

○ 3月23日（火） 開議 午後1時14分
散会 午後5時38分
第1委員会室
第1分科委員長
高橋 文明（自民）

○ 企画振興部所管に対する質疑に入り、

高橋 定敏委員（自民）から、

新長期総合計画について

- ・経済指標の認識と新長計の経済指標の意味
- ・新長計の推進に当たっての各種経済指標の把握と活用状況
- ・独自調査の取組みへの見解
- ・経済指標の最新情報入手と新長計の実績指数把握時期に対する考え
- ・新長計における経済指標の重要項目
- ・経済成長率設定の考え方と経済成長率の推移
- ・経済成長率の経済活動別推移
- ・産業別に実質化することの困難な理由と他府県の状況
- ・経済成長率を景気動向等の変化に対応していくことへの見解
- ・政府の経済見通しに対する見解
- ・経済企画庁が景気の判断を方向転換したことへの見解
- ・国が調整過程に入った影響と道の対応
- ・鉱工業生産指数の知事の認識に対する見解
- ・産業構造調整への対応についての認識と取組み
- ・工業の高度化を図る上での視点に対する認識と取組状況
- ・生活大国など国の政策転換と計画の中への位置付け

- ・新長計と北海道発展計画との相違点
- ・目標年次における産業構造構成比の推計方法
- ・目標年次における産業別就業者数構成比の推計方法
- ・新計画折返し年における産業別就業者数の推移状況
- ・経済活動別道内総生産及び産業別就業者数の推移
- ・先端技術産業や加工組立型工業の新規立地状況及び全国に比した進展状況
- ・技術先端型産業や加工組立型業種の地域別及び業種別の立地状況
- ・先端技術産業や加工組立型産業育成への取組状況
- ・先端技術産業や加工組立型産業の目標値に対する現状
- ・産業構造転換に当たっての国の政策との整合性
- ・地域産業のあり方への見解

等について（関連して、中川義雄委員（自民）から、定性的な経済指標の重要性等について）

加藤 和久委員（自民）から、

新長期総合計画について

- ・目標を下回る人口の現状認識と原因
- ・圏域別人口動態の計画における目標と現状延長型に比較した現状認識
- ・年齢構成等人口内容についての認識
- ・中核都市の人口流出についての評価と認識
- ・人口と経済の係わりに対する認識と人口問題の対策
- ・過疎に対する認識
- ・人口想定時に用いた粗再生産率の数字と全国との比較
- ・全国と比較して出生率が低い要因
- ・人口の年齢構造の評価
- ・自然動態の中での圏域間の格差の認識
- ・人口の自然減への認識
- ・本道の出生率が低い原因と対応策
- ・自然増加率の減少を食いとめる総体的施策
- ・人口が社会減のまま推移した要因
- ・圏域毎に人口を引きつける対策
- ・高校生、大学生の道外流出問題とUターン・Iターン対策へ対応と効果
- ・産業構造の変化の推移と対策
- ・雇用の場確保への取組み

- ・社会動態人口の増減への認識
- ・過疎法の活用についての問題の有無
- ・具体的過疎対策
- ・道の過疎地域活性化方針及び計画の見直し状況
- ・人口格差を踏まえた新長計推進計画の策定・見直しの状況
- ・人口問題研究会の取組みと報告書など作成の必要性
- ・北海道人口問題懇話会で検討されるべき問題点に対する見解
- ・地方の格差是正の支援制度と沼田町の事例
- ・広域行政圏を検討することの大事さ
- ・厚生省人口問題研究所の人口推計結果についての基本認識
- ・新長計の人口推計の方法に対する見解
- ・計画後半期の社会増を図ることへの認識
- ・圏域格差是正に対する決意
- ・新長計の見直しへの見解

等について、質疑、意見及び要望があり、企画振興部長、企画室参事及び地域調整課長から答弁。

- ・可能性調査についての見解
- ・可能性調査の4社との業務委託処理要領
- ・2社の業務委託処理要領が提出できない理由
- ・可能性調査結果の検討と計画素案への反映状況
- ・1月24日に素案を決定した理由
- ・可能性調査の検討状況と13の戦プロに決定した経緯
- ・道民意向調査及び市町村意向調査の反映状況
- ・市町村意向調査の方法と調査内容
- ・コンピューター航空と医療福祉INSの市町村意向調査の反映状況
- ・市町村意向調査の方法の妥当性
- ・地域プロジェクトと戦略プロジェクトとの違い
- ・道が主体となっていないプロジェクトの有無
- ・戦略プロジェクトの達成すべき期間の目途
- ・基本構想で展望している具体的時期
- ・当初計画から見たプロジェクトごとの達成度
- ・進捗状況の取組区分の基準

等について、質疑、意見及び要望があり、企画振興部長及び参事監から答弁。

○ 3月24日（水） 開議 午前10時52分
散会 午後5時21分
第1委員会室
第1分科委員長
高橋 文明（自民）

○ 企画振興部所管に対する質疑の続行、
清水 誠一委員（自民）から、

- 1 JR幹線鉄道について
 - ・整備基金導入に対する受止め方
 - ・事業採択に向けての見解
 - ・釧路～札幌間的高速化事業への取組状況
 - ・中央省庁に対しての取組状況への認識
 - ・地元組織の対応状況
 - ・地元沿線自治体への協力要請
 - ・想定される負担等への考え
- 2 戦略プロジェクトについて
 - ・戦略プロジェクトの理念・目的と推進に当たっての対応
 - ・15本の戦略プロジェクト決定の経緯
 - ・可能性調査及び選定に至るまでの庁内検討の状況
 - ・新計画素案決定までの幹事会等の開催状況
 - ・可能性調査検討と計画素案決定の妥当性

○ 3月25日（木） 開議 午前10時5分
閉会 午後4時16分
第1委員会室
第1分科委員長
高橋 文明（自民）

① 企画振興部所管に対する質疑の続行、
清水 誠一委員（自民）から、

- 戦略プロジェクトについて
- ・達成度と進捗度の違い
 - ・進捗状況の4区分のランク付け
 - ・特定地域を対象にしているプロジェクトと地域振興が図られている事業
 - ・戦略プロの前半期の波及効果
 - ・前半期で取り組んでいる事業
 - ・国との協調が必要なプロジェクトと科学技術庁と関わりのあるプロジェクト
 - ・科学技術庁に対する要請等取組状況
 - ・北の技術開発に対する要請への取組状況
 - ・前半期の資金実績と後半期の所要資金
 - ・後半期7年間の所要資金
 - ・前半期取り組む事業の進展状況
 - ・後半期へ実施時期を繰り延べた事業の実施見

込みと取組みが遅れているプロジェクト

- ・取組みが遅れている要因と今後の対応
- ・15のプロジェクトの10年後の目指す姿

等について

伊達 忠一委員（自民）から、

土地監視区域制度について

- ・監視区域指定の状況
- ・監視区域内の最近の地価動向の状況
- ・地価の沈静化、下落の要因
- ・監視区域内の届出状況と区域指定に伴って新たに届け出が必要となった件数
- ・実勢価格と届け出価格の実態
- ・監視区域制度が土地の流動化・取り引きに与える影響
- ・監視区域を解除する考え

等について

酒井 芳秀委員（自民）から、

新長期総合計画について

- ・地域生活経済圏の定義
- ・地域生活経済圏を設定した理由
- ・広域行政圏の概要及び地域生活経済圏との比較及び地域生活経済圏のメリット
- ・準中核都市、中心都市への対応
- ・支庁単位で振興を図る考え
- ・地域生活経済圏形成への対応状況
- ・支庁の機能強化への取組状況
- ・現在の支庁の機能への見解
- ・6圏域毎の主な指標と水準の達成状況
- ・計画前半の目標値に対する比率
- ・数値が明示されていない事項についての理由
- ・産業別指標の概数による明示の可能性
- ・計画前半の数値に対する評価
- ・生活経済圏と地域プロジェクト及び戦略プロジェクトの関係
- ・地域プロジェクトの推進状況
- ・庁内体制
- ・地域プロジェクトの推進組織
- ・中核都市・準中核都市・中心都市の意図した発展の状況
- ・地域総合ヒューマン・システムの概念
- ・道央の複合都市圏とそれ以外の市町村の人口推移
- ・地域生活経済圏は破綻したとの見方への所見
- ・北海道発展計画に対する所見
- ・新長計の点検結果報告が出ていない理由

- ・推進計画の策定の第1次から現在までの経緯
- ・推進計画策定時における計画と現実への疑義の有無

・推進計画策定時の状況把握が点検となるとの考えへの見解

- ・進捗状況の実態把握の時期
- ・推進計画上、地域の均衡ある発展等へ配慮の有無
- ・地域生活経済圏形成が過疎問題の解決になるとの考えへの所見
- ・中核都市の人口の想定による計画策定の有無
- ・計画と諸情勢の変化による実態に対する認識
- ・新長計の見直しを前提とした点検への考え

等について

中川 義雄委員（自民）から、

1 道政の基本方向について

- ・経済の停滞及び道税収入が落ち込んだことへの見解
- ・公共事業に依存している実態への所見
- ・良質な起債への見解
- ・財政硬直化につながる施設建設に対する考え方
- ・外郭団体の見直し等への考え
- ・食品加工研究センターの事業内容
- ・食品加工研究センターを江別に設置した理由
- ・地域食品加工技術センターの位置付け
- ・ロシア連邦との交流を進める理由

2 新長期総合計画について

- ・推進体制の考え方
- ・北海道の自立性の施策展開
- ・順調に実施されたと評価される事業
- ・ある程度の進展をみたと評価される事業
- ・進展が遅れていると評価される事業及び遅れた要因
- ・前半期の所要資金の内訳
- ・戦略プロジェクトの可能性を判断した時期と決定者
- ・戦略プロジェクトの可能性を判断した根拠
- ・調査した13本の戦略プロジェクトに追加したプロジェクト名
- ・13本の戦略プロジェクトを15本にした経過
- ・追加した戦略プロジェクトの内容と地域プロジェクトとの関係
- ・戦略プロジェクトの決定を急いだ理由

等について、質疑、意見及び要望があり、企画振興部長、参事監及び企画振興部次長から答弁があって企画振興部、

選挙管理委員会、生活福祉部、人事委員会、出納局、監査委員及び総務部所管に対する質疑を終結。

- ② 付託案件に対する分科委員長報告については、分科委員長に一任することを決定。



第 2 分科会

○ 3月18日（木） 開議 午後 4 時15分
散会 午後 4 時27分
第 2 委員会室
第 2 分科委員長
岩井 正明（社会）

正副委員長の互選

- ① 分科委員長に岩井正明委員（社会）、分科副委員長に佐藤時雄委員（自民）を選出。
- ② 付託案件の審査日程、質疑の方法について決定。
- ③ 本分科会の運営について、自民、社会、公明、民政、各 1 名、計 4 名の理事を選び、その協議により行うことを決定。理事に高橋一史委員（自民）、小池 昌委員（社会）、高橋 鉦委員（公明）、風早俊男委員（民政）を選出。
なお、共産については、オブザーバーの扱いとすることを決定。
- ④ 分科委員外委員の発言の取扱いについては、その都度分科会に諮り決定することとした。
- ⑤ 議席について、配付の議席表のとおりとすることを決定。

○ 3月22日（月） 開議 午後 1 時35分
散会 午後 4 時50分
第 2 委員会室
第 2 分科委員長
岩井 正明（社会）

- ① 住宅都市部所管に対する質疑に入り、
久田 恭弘委員（自民）から、
- 1 まちづくり 100 選大賞事業について
- ・事業の目的
 - ・選定された事例とその理由
 - ・表彰事例を生かしていく方策
 - ・まちづくり読本について
- 2 市町村のまちづくりについて
- ・市町村のまちづくり担当者に対する研修

- ・市町村職員の資質向上
 - ・景観アドバイザー
 - ・担当職員の海外研修
- 3 宅地開発等について
- ・道営住宅のゆとりある整備
 - ・積雪寒冷地におけるゆとりあるまちづくり
 - ・用途区域の見直しにあたっての考え方
 - ・ゆとりある宅地開発
 - ・区画道路の幅員
 - ・自然環境と調和した宅地等について

高橋 由紀雄委員（社会）から、

- 1 単身者用住宅の確保対策について
- ・単身者用住宅にかかる現行制度
 - ・各制度の実績
 - ・「特定優良賃貸住宅」制度の概要
 - ・地域の若年単身者用住宅の建設促進
- 2 北方型住宅の推進について
- ・普及状況
 - ・建設コストの低減など
 - ・技術水準の向上
 - ・今後の普及方策

等について

風早 俊男委員（民政）から、

- 1 道営住宅の空家について
- ・空家の状況
 - ・市営住宅との家賃格差
 - ・収入基準の見直し
 - ・空家対策
- 2 道営住宅の家賃滞納について
- ・過去五箇年の家賃滞納の状況
 - ・滞納整理の取組み
 - ・他府県における住宅の明渡訴訟の状況
 - ・住宅明渡訴訟の対象者
 - ・明渡訴訟のスケジュール
 - ・今後の家賃滞納整理促進
- 3 道営住宅敷地内駐車場の整備について
- ・駐車場整備が必要となった経緯
 - ・他府県の有料化の状況
 - ・有料化しようとする駐車場所
 - ・敷地の使用許可
 - ・駐車場利用料
 - ・今後の駐車場の整備
 - ・道営住宅と民間賃貸住宅との競合
- 等について

大橋 晃委員（共産）から、

- 1 道営住宅の駐車場の整備について
 - ・民有地を借り上げている団地の駐車場使用料及びその整備
 - ・都心部における駐車場整備
 - ・駐車場利用料の減免
 - ・駐車スペースの使用承諾
 - ・入居者との協議
- 2 ウタリ住宅対策について
 - ・ウタリ住宅資金の貸付け拡大
 - ・貸付金の償還
 - ・貸付制度の改善
 - ・連帯保証人
 - ・貸付制度の運用
- 3 人に優しい建物づくりについて
 - ・道に対する要望
 - ・他府県の状況
 - ・対象となる建築物
 - ・建物のスロープとロードヒーティング

等について質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長、まちづくり推進室参事、住宅課長、都市計画課長、都市整備課長及び建築指導課長から答弁があって、住宅都市部所管に対する質疑を終結。

○ 3月23日（火） 開議 午前10時27分
散会 午後4時59分
第2委員会室
第2分科委員長
岩井 正明（社会）

① 企業局所管に対する質疑に入り、

萩原 信宏委員（共産）から、

工業用水道会計について

- ・日本軽金属の減量の申出
- ・日本軽金属の給水能力
- ・減量の申出に対する対応
- ・沙流川総合開発事業に係る苫東工水の負担金
- ・同開発事業の事業変更に係る新聞報道記事
- ・事業変更に係る新聞報道記事
- ・事業変更に伴う負担金
- ・苫東地域の企業立地状況及び工水の契約状況
- ・苫東工水の需要見通し
- ・苫東工水の建設スケジュール

等について質疑、意見及び要望があり、企業局長及び企画開発課長から答弁があって、企業局所管に対する質疑を終結。

② 保健環境部所管に対する質疑に入り、

釣部 勲委員（自民）から、

- 1 脱スパイク対策について
 - ・部長及び室長の運転免許証等の有無
 - ・つるつる路面の予測
 - ・スタッドレスタイヤ使用の各関係業界等の現状に対する部長の見解
 - ・関係業界の従業員数及び台数等
 - ・審議会の開催等の状況
 - ・審議会の答申内容に対する部長の見解
 - ・ミラー現象による転倒事故等の状況
 - ・訴訟等が起きた場合の対応
 - ・粉じんによる健康障害の状況

等について

川口 常人委員（自民）から、

自然保護と人間生活とのかかわり方について

- ・野生動物の生息状況等に対する認識
- ・野生動物による農業等への被害状況
- ・農業被害に対する道の対応
- ・生態系との関連
- ・有害鳥獣駆除のあり方
- ・自然の維持保全
- ・自然保護行政の推進
- ・自然環境保全の基本姿勢
- ・自然環境保全の推進に対する指針
- ・自然保護と人間生活とのかかわり方

等について

吉田 恵悦委員（公明）から、

高齢者の医療福祉の問題について

- ・北海道在宅医療ケア事業団について
- ・事業団設立の背景等
- ・市町村の参加の意義
- ・訪問看護ステーション設置のスケジュール
- ・医療施設による訪問看護との違い
- ・訪問看護の需要
- ・看護職員の確保
- ・機能訓練指導事業の内容、経費
- ・機能訓練指導事業のスケジュール
- ・訪問看護ステーションの役割に対する部長の所見

等について、質疑、意見及び要望があり、保健環境部長及び自然保護課参事から答弁。

○ 3月24日（水） 開議 午前10時6分
散会 午後5時12分
第2委員会室
第2分科委員長
岩井 正明（社会）

① 保健環境部所管に対する質疑の続行、

大橋 晃委員（共産）から、

- 1 保健所問題について

- 地域保健基本問題研究会の検討状況
- 保健所法等が果たしてきた役割
- 保健サービスの総合的な取組み
- 市町村との協力体制
- 保健所の医師、保健婦等の状況
- 保健所支所の設置
- 精神保健相談員の発令等の問題
- 保健所保健婦の役割
- 保健・医療・福祉を総合調整する保健所の位置づけ
- 福祉との連携
- 保健所機能のあり方

2 結核病棟の一般患者の入院問題について

- 低肺機能など結核の後遺症患者の数等
- 肺結核後遺症患者の医療機関
- 結核病床での継続治療を希望する患者
- 結核後遺症患者の特例病床
- 結核後遺症患者の入院

3 風蓮湖対策について

- 風蓮湖などの自然環境等に関する認識
- 風蓮湖鳥獣保護区の国設化
- 琵琶湖等のラムサール条約登録湿地化の評価と風蓮湖の登録湿地化

等について、質疑、意見及び要望があり、保健環境部長及び保健予防課長から答弁があつて、保健環境部所管に対する質疑を終結。

② 土木部所管に対する質疑に入り、

乙川 節郎委員（公明）から、

土木行政について

- 脱スパイクタイヤ対策
- 除排雪対策
- 消雪施設
- 雪みち計画
- 歩道の除排雪
- 道道の環境整備

等について

萩原 信宏委員（共産）から、

1 石狩湾新港長期整備構想調査について

- 石狩湾新港の港湾取扱貨物量の実績
- 構想への道の関与
- 構想の検討内容
- 小樽港の機能発揮
- 構想に関わる小樽市側の同意

2 道道士幌然別湖線について

- 今後の工事計画

- ボーリング調査
- 一般質問の知事答弁
- 地元自然保護協会との話し合い
- 検討委員会での審議内容
- 総合的評価図と自然環境保全指針との整合性
- 自然環境指針に対する土木部の関わり

3 河川行政について

- トマムダム調査
- ダム建設の目的
- 今後の建設予定
- 工事費
- 事業者の負担

4 河畔林について

- 川に親しむ河川改修
- 河畔林が果たす役割
- 今後の河川改修
- 親水の世論啓発

等について質疑、意見及び要望があり、土木部長、道路課長、河川課長及び空港港湾課長から答弁があつて、土木部及び土地収用委員会所管に対する質疑を終結。

○ 3月25日（木） 開議 午前10時29分

閉会 午後5時52分

第2委員会室

第2分科委員長

岩井 正明（社会）

① 教育委員会所管に対する質疑に入り、

山口 幸太郎委員（自民）から、

1 国旗・国歌の取扱いについて

- 池田高校における問題の経緯
- 校長と教員の話し合いの状況
- 校長からの事情聴取
- 校長と生徒との討論の内容
- 君が代に対する教育長の認識
- 本件に関与した教員の有無
- 特別活動における国旗・国歌の指導状況
- 国旗・国歌問題を団体交渉の対象とすることの適否
- 学校現場での国旗・国歌問題の交渉状況及び道教委の指導状況
- 学習指導要領に基づく校長の措置
- 新学習指導要領における国旗国歌の取扱い
- 学習指導要領に関する最高裁判決
- 道教委の指導状況
- 「適切な指導」の具体的内容

- 「教職員の理解を得て」の意味
- 学習指導要領違反に対する懲戒処分の可能性
- 池田高校校長の判断の適否
- 北海道における国旗・国歌の取扱状況
- 新学習指導要領全面実施に向けての国旗・国歌の扱い

2 学校週5日制について

- 調査研究協力校を5校から48校に増やした理由
- 48校の局管内配分の理由
- 「調査研究推進会議」設置の有無
- 調査研究推進会議の実施状況
- 教職員団体主催の研究会議の目的と開催状況
- 研究実践状況の中間報告の有無
- 組合主導の報告書とならないための協力校に対する指導
- 学校週5日制が2年目を迎えるに当たっての今後の方針

等について（関連して、山口真人委員（自民）から、国旗国歌の扱いに関する組合との協定、服務規程違反に対する対応等について）

小野寺 勇委員（自民）から、

高等学校入学者選抜について

- 志望校決定の方法
- 文協テストの規模
- 教育文化協会におけるテスト収入と経理内容
- 文協テスト廃止後の協会の取扱い
- 全道統一のテストを行う教育上のメリット
- 学区内での偏差値情報交換の有無
- 推薦入学の選抜基準
- 推薦入学時における学校間格差の判定
- 検査問題の作成方法
- 私立高校入試に類似の問題が出題された場合の対応
- 研究実践状況の中間報告の有無
- 一般入学者選抜における合否判定
- 入学試験における個人調査書の配点基準
- 調査書における各教科の評価
- 各教科の学習以外の評価
- 3年生になってから成績が伸びた生徒に対する評価
- 入学者選抜における個人調書の取扱い改善

等について

大橋 晃委員（共産）から、

1 学校図書館について

- 学校図書館の意義と役割
- 空教室の活用
- 道立学校の図書費の増額
- 小中学校図書館の充実
- 司書教諭の役割
- 道立高校における図書館職員の配置状況
- 図書館職員の増員
- 他府県の県単独費の上乗せ状況
- 他府県の実態調査

2 文化行政について

- ナキウサギの評価
- 1949年にナキウサギを天然記念物候補とした理由
- ナキウサギを天然記念物に指定するための働きかけ

3 教科書の記述について

- 高等学校の教科書におけるアイヌの記述の強化
- アイヌ教育の強化
- 北海道教育大学岩見沢分校における「アイヌ文化」を必修とすることに対する評価

4 教職員の健康問題について

- 教職員の在職死亡の実態
- 過労死と認定されたケースと係争中の案件
- 過労死対策
- 健康に不安を持ちながら働いている教師の実態
- 教職員の健康診断の実態と改善方法
- 教職現場でのメンタル・ヘルスの実態と対策
- 健康管理医の概要と産業医との関係
- 残業・時間外の実態
- 教職員の増員
- 完全週休2日制の意義
- 完全週休2日制へ向けた努力

等について質疑、意見及び要望があり、教育長、企画管理部長、生涯学習部長、学校教育課長、財務課長、学校管理課長、給与課長及び福利課長から答弁があつて、教育委員会所管に対する質疑を終結。

- ② 付託案件に対する分科委員長報告については、分科委員長に一任することを決定。



第 3 分 科 会

○ 3月18日 (木) 開議 午後 4 時15分
散会 午後 4 時25分
第 5 委員会室
第 3 分科委員長

永井 利幸 (自民)

正副委員長の互選

- ① 分科委員長に永井利幸委員 (自民)、分科副委員長に鈴木泰行委員 (社会) を選出。
- ② 付託案件の審査日程、質疑の方法について決定。
- ③ 本分科会の運営について、自民、社会、公明、民政、各 1 名、計 4 名の理事を選び、その協議により行うことを決定。理事に、菅原功一委員 (自民)、森 敏捷委員 (社会)、吉田恵悦委員 (公明)、藤沢一雄委員 (民政) を選出。
- ④ 分科委員外委員の発言の取扱いについては、その都度分科会に諮り決定することとした。
- ⑤ 議席について、配付の議席表のとおりとすることを決定。

○ 3月22日 (月) 開議 午後 1 時 9 分
散会 午後 4 時51分
第 5 委員会室
第 3 分科委員長

永井 利幸 (自民)

○ 商工労働観光部所管に対する質疑に入り、
吉川 貴盛委員 (自民) から、

北海道フェスティバルについて

- ・開催目的と事業内容
- ・事業実施効果
- ・招待者の選定方法及び選定基準
- ・招待者の見直し
- ・食材の無料提供
- ・食材の一部有償提供依頼
- ・事業の見直し

等について

佐々木 利昭委員 (自民) から、

精神薄弱者能力開発センターについて

- ・更生施設等との違い
- ・一般企業への斡旋体制
- ・検討委員会の開催

等について

山口 真人委員 (自民) から、
大店法の規制と小樽市内のスーパーの店舗面積超過について

・道の処分方針

等について、質疑、意見及び要望があり、商工労働観光部長、観光室長及び職業安定課長から答弁。

○ 3月23日 (火) 開議 午前10時10分
閉会 午後 5 時16分
第 5 委員会室
第 3 分科委員長

永井 利幸 (自民)

① 商工労働観光部所管に対する質疑の続行、

山口 真人委員 (自民) から、

大店法の規制と小樽市内のスーパーの店舗面積超過について

・道の処分方針

等について質疑、意見及び要望があり、商工労働観光部長から答弁があつて、商工労働観光部所管に対する質疑を終結。

② 林務部所管に対する質疑に入り

段坂 繁美委員 (社会) から、

1 みどりの環境づくりについて

- ・一人一本植樹運動定着促進事業の具体的内容と期待している効果
- ・植樹祭開催に当たっての住民参加の指導
- ・市町村の緑化事業の取組みに対する指導・援助
- ・みどりのネットワークづくりの計画内容
- ・みどりのネットワーク形成モデル事業の目的と 3 市町の選定理由
- ・みどりのネットワークの形成の手法
- ・海岸線緑化保全事業の実施状況と事業推進上の課題・問題点
- ・私有地における海岸線緑化保全事業の推進

2 林業労働対策について

- ・林業労働の現状認識
- ・労働災害と振動障害の発生状況
- ・労働災害・振動障害対策などへの取組み
- ・林業労働者の就労内容・条件の実態
- ・林業労働安定雇用対策懇話会等での意見や提案の内容
- ・「林業労働対策の基本方向」の目標とその対策
- ・森林整備担い手対策基金における対策

等について、質疑、意見及び要望があり、林務部長、みど

り対策室参事、治山課長及び林業振興課長から答弁があつて、林務部所管に対する質疑を終結。

③ 水産部所管に対する質疑に入り、

山崎 正隆委員（自民）から、沿岸漁業と沖合底びき網漁業の協調ある操業体制づくりなどについて

- ・釧路の沖底船に対するロシア側からの照明弾投下の事実関係と洋上会談での協議の結果
- ・違反操業が判明した場合の対応
- ・沖合底びき網漁船の操業隻数、地区及び操業パターン
- ・88隻体制となっている沖合底びき網漁業の本道漁業での位置づけ
- ・沖底船の底びき禁止ライン越境や幼魚の漁獲投棄などの事例の把握状況とその対応
- ・釧路の沖底船のスケソウ幼魚水揚げにかかる事実関係の把握とその対応状況及び発生原因
- ・沖合底びき網漁船に対する国の取り締まりと指導体制
- ・沖底船の操業に対する道としての取組状況
- ・沖底船に対する先送りされた漁具規制の内容と規制開始時期の見通し
- ・国の「沖底モデル化事業」の実施状況
- ・「沖底モデル化事業」に対する今後の対応
- ・操業協定に資源保護や使用漁具の取り決めを含めることへの見解
- ・効果のある資源管理の実施と底びき網漁業に対する指導の強化
- ・沿岸、沖底漁業者の実効ある協力体制づくりに向けての決意

等について

久田 恭弘委員（自民）から、

漁港整備などについて

- ・第8次漁港整備長期計画における漁港の整備状況
- ・第9次漁港整備長期計画の策定に向けた国の考え方と道の働きかけの状況
- ・組合合併推進地区に対する国の施策の基本的な考え方
- ・第9次漁港整備長期計画の策定スケジュール
- ・計画策定に向けた道の考え方と具体的な整備方向
- ・漁港の道路整備の推進
- ・漁港と比較した港湾における道路整備の実施

状況

- ・漁港関連道路整備事業の事業採択に対する認識
- ・漁港及び漁村における環境整備事業の内容と取組みに対する基本的な認識
- ・5年度度の漁港環境整備事業及び漁業集落環境整備事業の実施予定箇所
- ・「ふれあい漁港・漁村整備計画」による漁港整備の事業内容と実施状況
- ・「ふれあい漁港・漁村整備計画」の発足の経緯と事業実施による地域への効果
- ・北後志地域のマリノバージョン構想の進捗状況と今後の基本的な進め方
- ・日本海地域の漁業振興の推進に伴う漁港整備の取組みについての認識

等について、質疑、意見及び要望があり、水産部長、漁業管理課長及び漁港課長から答弁があつて、水産部、海区漁業調整委員会、連合海区漁業調整委員会、内水面漁場管理委員会及び農政部所管に対する質疑を終結。

- ④ 付託案件に対する分科委員長報告については、分科委員長に一任することを決定。

〇3月26日（金） 開議 午後4時36分
閉会 午後6時23分
第1委員会室
委員長 平井 進（自民）

- ① 各分科委員長から、それぞれ分科会における審査の経過について報告。

- ② 知事に対する総括質疑に入り、

酒井 芳秀委員（自民）から、

新長期総合計画について

- ・地域生活経済圏の計画前半期の実績に対する評価
- ・地域総合ヒューマンシステム概念
- ・中核都市等の意図した役割に対する効果
- ・支庁の機能強化への今までの取組み
- ・地域プロジェクト推進に対する所見
- ・地域生活経済圏の形成を念頭に置いた過疎地域振興への見解
- ・地域生活経済圏構想が破綻しているとの見方への見解
- ・62年10月の地域格差是正等の調査意見に対する対応

- 均衡ある発展、過疎対策についての所見
- 推進計画を毎年つくる作業が点検になるとの考えへの見解

等について

中川 義雄委員（自民）から、

新長期総合計画について

- 新長期総合計画の点検、見直しへの見解

等について質疑、意見及び要望があり、知事から答弁があって、総括質疑を終結。

- ③ 付託案件に対する意見の調整は、各派代表者会議において行うことを決定。
- ④ 各派代表者会議における意見調整の結果、議案第1号及び第16号ないし第18号について意見の一致を見るに至らなかった旨の報告の後、これを問題とし、萩原信宏委員（共産）から反対討論の後、採決に入り、起立採決の結果、起立多数をもって原案のとおり可決することを決定。
- ⑤ 議案第2号ないし第15号、第24号、第33号及び第34号を一括議題とし、原案のとおり可決することを決定。
- ⑥ 永井利幸委員（自民）から、別紙の附帯意見を委員長報告に挿入されたい旨の動議があり、これを諮って動議成立。本動議を諮って異議なく可決することを決定。
- ⑦ 付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することを決定。
- ⑧ 委員長から、付託案件の審査終了に当たりあいさつがあつて閉会。

1 月 の メ モ

- 13日 ○室蘭でタンカー火災 室蘭港の日本石油精製室蘭製油所専用岸壁でナフサ積み込み作業をしていた大阪市、田淵海運所属の小型タンカー英晴丸（1,199ト）の機関室にあるエンジンボイラーが爆発、付近で作業をしていた3人が死亡、3人が重体となった。
- 15日 ○釧路沖地震で各地に被害 午後8時6分ごろ、釧路沖南20^{キロ}、震源の深さ約120^{キロ}で、マグニチュード7.5規模の地震が発生、釧路で震度6の烈震、帯広、浦河、広尾でも震度5の強震を記録した。この地震で釧路などで火災が発生、家屋も多数倒壊。釧路市内で2人が死亡したほか、数百人が負傷。道路網も国道44号など道東を中心に寸断され、JRもほぼ全線で運転を一時中止した。道は釧路沖地震北海道災害対策連絡本部を設置した。道内で震度6の烈震を記録したのは、昭和57年の浦河沖地震以来。
- 19日 ○皇太子ご婚約正式決定 皇太子さま(32)と小和田雅子さん(29)の結婚に関する皇室会議が宮内庁で開かれ、全会一致の承認でご婚約が正式に決まった。
- 20日 ○クリントン大統領誕生 米国の第42代大統領に民主党のクリントン氏(46)が就任した。戦後生まれの初の大統領で、民主党政権は12年ぶり。ワシントンの連邦議会議事堂で行われた就任式で、同氏は「変革の可能性に挑もう」と呼びかけた。
- 27日 ○サケ・マス違法操業で懲役5月求刑 北太平洋公海での小型サケ・マス漁船違法操業の初公判が釧路地裁であり即日結審、漁労長3被告に懲役5月を求刑した。
- 29日 ○王子製紙と神崎製紙が合併へ 紙・パルプ業界首位の王子製紙と7位の神崎製紙は10月1日をめぐりに合併することで合意。紙生産量では十条製紙と山陽国策パルプの合併で4月に発足する日本製紙を抜きトップになる。

2 月 の メ モ

- 2日 ○新千歳空港24時間運用の試験飛行に苫小牧市地域協が同意 道の国際エアカーゴ基地構想に伴う24時間運用問題を話し合う道と苫小牧市、関係住民による苫小牧市地域協が開かれ、住民側は道が示していた騒音調査のための深夜、早朝の試験飛行案に同意した。試験飛行は3月1日から実施される。
- 4日 ○公定歩合0.75%下げ 日銀は臨時政策委員会を開き、公定歩合を0.75%引き下げ年2.5%とすることを決め、即日実施した。利下げは91年7月以降の金融緩和局面で6回目。87年2月から89年5月まで続いた史上最低水準と並んだ。
- 10日 ○社会党の小林恒人衆議院議員(本道1区)が引退を表明 札幌のホテルで会見し、「持病のぜんそくが悪化し、国会議員としての激務に耐えられない」として、次期総選挙に出馬せず、引退することを表明した。
- 14日 ○函館で氷像が破壊される はこだて冬フェスティバルの元町公園会場で、氷像39基の大半が壊された。函館西署は悪質ないたずらとみて調べているが、これほど大量の氷像が破壊された例はない。
- 15日 ○中国、憲法に「市場経済」明記へ 中国共産党中央委員会は、全国人民代表大会(全人代)常務委員会に、「社会主義市場経済の実行」を明記した憲法修正案を提出した。最高実力者・鄧小平氏の理論を全面的に取り入れたもので、3月15日開会の第8期全人代で可決される。
- 23日 ◎第1回定例道議会開会
- 28日 ○上磯町の知的障害者施設で火事、3人死亡 渡島管内上磯町の知的障害者更生施設群、通称「おしまコロニー」内の成人男子施設「新生園」の寮、「青風荘」などを焼き寮生3人の遺体が焼け跡から見つかった。

3 月 の メ モ

- 4日 ○世界貿易センター爆破犯逮捕 米連邦捜査局（FBI）は2月27日に発生したニューヨークの世界貿易センタービル爆破事件の容疑者としてヨルダン国籍のモハメド・サラメを逮捕した。
- 12日 ○北朝鮮が核拡散防止条約からの脱退を通告 国際原子力機関の特別査察を拒否してきた朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）は核拡散防止条約からの脱退を通告。核問題で北朝鮮が超強硬姿勢に転じたことで南北対話や日朝交渉への影響は必至となった。
- 16日 ○教科書検定は合憲 家永三郎・元東京教育大学教授が「教科書検定は違憲、違法」と、国に損害賠償を求めた「第1次家永教科書訴訟」の上告審で、最高裁は「検定は憲法に違反しない」として、家永氏の上告を棄却した。
- 新長計汚職で有罪判決 道の新長期総合計画（新長計）策定をめぐる汚職事件の判決公判で、札幌地裁の植村立郎裁判長は、受託収賄罪に問われた元道参事八幡匠被告（45）と贈賄側の3被告に、執行猶予付きの有罪判決を言い渡した。
- 20日 ○日ロサケ・マス交渉が決着 モスクワで開かれていた日ロ漁業合同委員会は、日本2百割内のサケ・マス漁獲量を前年比2千ト増の4千819トとすることで最終合意した。割当量の増加は2百割時代になって初めて。
- 26日 ◎第1回定例道議会閉会
- 26日 ○MRSA患者は206人 院内感染が社会問題となっているMRSA（メチシリン耐性黄色ブドウ球菌）の発病者数が206人に上っていたことが、道が道内91病院を対象にした調査結果で明らかになった。MRSA患者のうち、転院患者は少数で発病者のほとんどが院内感染したものとみられている。

北海道議会時報 第45巻第1号
平成5年6月17日発行

編集 北海道議会事務局調査課
発行 北海道議会事務局

北海道議会時報第45巻第1号(平成5年第1回定例会)